

新たな地域医療構想の策定について

令和 8 年 8 月 山口県医療政策課

1 新たな地域医療構想策定ガイドラインの概要

地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめ
(地域医療構想策定ガイドライン骨子)の概要

地域医療構想が目指す方向性

- 85歳以上の高齢者の増加や人口減少が更に進む2040年とその先を見据え、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できるよう、住民を含め地域の関係者の理解を得ながら医療提供体制を構築する

入院医療

- 持続可能な急性期医療の確保**

 - 医療機関機能を踏まえ、急性期の医療需要や、手術や救急搬送における医療機関ごとの役割分担等について地域ごとに協議
- 高齢者救急の受入体制の整備**

 - 救急の実施基準において、高齢者救急の考え方を位置付け
 - 入院早期からのリハビリテーション等の提供の推進

外来・在宅医療

- 外来医療提供体制の維持**

 - 診療所の減少が進む中、地域の病院を中心に提供体制を構築
 - へき地や診療所の数が限られている地域等において、D to P with Nを含むオンライン診療の活用を推進
- 在宅医療の受け皿の整備**

 - 在宅医療、介護施設、療養病床を一体的に捉え受け皿を整備
 - 医歯薬連携の推進
 - D to P with Nを含むオンライン診療等による効率化や病院による実施体制の強化、介護施設などの在宅医療以外の資源により受け皿を整備

介護との連携

- 医療と介護のニーズを有する者への対応の推進**
- 地域医療構想における市町村と介護関係者の役割を明確化
 - 慢性期の医療需要について、在宅医療等とあわせた体制整備
 - 医療と介護の相互理解の推進

人材確保

- 地域における医療人材の確保**
- 都道府県単位で、大学病院本院から急性期拠点機能を中心とした、地域医療構想全体を踏まえた人的協力のあり方について協議
 - 看護師等の将来の人材確保の方向性を反映

構想区域の見直し

医療機関の連携・再編・集約化など医療提供体制構築のための議論の単位や、必要病床数の運用が可能となる単位等を踏まえ、人口20万人以上を基本としつつ、地域の実情を踏まえ柔軟に設定

医療機関機能の新設

- 医療機関機能の確保の協議を通じて将来の提供体制の確保の取組を推進
- 急性期拠点機能**

 - 構想区域毎に、人口20万～30万に1つを目安に確保
 - 手術等の急性期医療を集約して提供
 - 新興感染症等への対応
 - 地域の人口や医療需要等を踏まえた病床のダウンサイジング
- 在宅医療等連携機能**

 - 地域での在宅医療の提供
 - 他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を実施
- 高齢者救急・地域急性期機能**

 - 誤嚥性肺炎等の高齢者救急を受入
 - 高齢者を中心に入院早期からのリハビリテーションを提供
 - 大都市等においては頻度の多い手術を提供
- 専門等機能**

 - 集中的なリハビリ、中長期にわたる入院医療、有床診療所の担う地域に根ざした診療、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を提供
- 医育及び広域診療機能（大学病院本院）**
- 都道府県と連携した人的協力
 - 症例数が少ない医療などの広域な観点での診療
 - 地域で多様な症例に対応する人材の育成

病床機能報告・必要病床数の見直し

これまでの地域医療構想の取組に加え、病床機能について回復期を包括期とするとともに、必要病床数について新たな地域医療構想の取組を踏まえた推計を実施し、病床機能の分化・連携を推進

※令和8年3月19日地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめより作成
※なお、精神医療における地域医療構想のガイドラインの策定に向けて、2026年度（令和8年度）中を目途に結論を得るべく、検討を進める

【構想区域とはどのようなものか】

- 医療法第30条の3の3第2項第2号】（R9.4.1施行）
地域における医療機関機能及び病床の機能の分化及び連携を推進するための基準として厚生労働省令で定める基準に従い定める区域（以下「構想区域」という。）
※ 厚生労働省令はR8.7.7現在改正されず

○新構想策定ガイドラインの記載

構想区域の 主な役割	あるべき単位
①医療提供体制 の構築	・ 急性期拠点機能の確保の観点から、当該地域で緊急手術等の需要が一定程度発生し、こうした需要に対応する体制を合理的に確保できる単位
②必要病床数 の運用	・ 病床機能別に適切な病床数が確保できるよう調整会議や医療審議会での議論の進行や適切な法令上の権限行使を行える単位

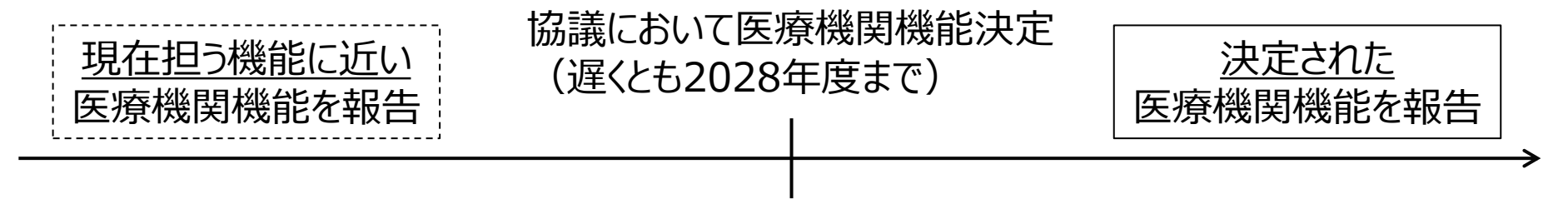
【どんなデータ等を考慮して検討するか】

- ・ 将来人口推計、患者の流出入、医療機関の配置状況、医療従事者の確保状況、医療へのアクセス等
- 現在及び将来の医療需要や人材確保の観点で区域として一定の医療提供の完結が可能か

1-3 医療機関機能の決定

○医療機関機能の概要

- ・ 第一義的には、医療法第30条の13に基づく医療機関機能報告上の報告事項の1つ



- ・ 地域医療構想では以下の内容等を定める（医療法第30条の3の3第2項第3号、第5号等）

- ① 構想区域における将来の医療機関機能の見通し
- ② 地域医療構想の達成に向けた医療機関機能の分化及び連携の推進に関する事項 等

地域ごとの医療機関機能	主な具体的な内容
高齢者救急・地域急性期機能	・ 高齢者をはじめとした救急搬送を受け入れるとともに、必要に応じて専門病院や施設等と協力・連携しながら、入院早期からのリハビリ・退院調整等を行い、早期の退院につなげ、退院後のリハビリ等の提供を確保する。
在宅医療等連携機能	・ 地域での在宅医療の実施、他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を行う。
急性期拠点機能	・ 地域での持続可能な医療従事者の働き方や医療の質の確保に資するよう、手術や救急医療等の医療資源を多く要する症例を集約化した医療提供を行う。
専門等機能	・ 上記の機能にあてはまらない、集中的なリハビリテーション、高齢者等の中長期にわたる入院医療機能、有床診療所の担う地域に根ざした診療機能、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を行う。

広域な観点の医療機関機能

医育及び広域診療機能	・ 大学病院本院が担う、広域な観点で担う常勤医師や代診医の派遣、医師の卒前・卒後教育をはじめとした医療従事者の育成、広域な観点が求められる診療を総合的に担い、また、これらの機能が地域全体で確保されるよう都道府県と必要な連携を行う。
------------	---

1-4 急性期拠点機能を担う医療機関の決定

【急性期拠点機能は具体的にどのような役割を担うか】

- 救急医療や手術等の医療資源を多く要する医療を、地域の実情に応じ総合的に提供
- 具体的には、消化器外科、整形外科、循環器内科、脳神経外科等を中心に、高頻度、救急対応や手術・処置等を要する疾患に対応

【急性期拠点機能を担う医療機関の決定にはどんなデータ等を考慮するか】

- 救急医療に係る診療実績
 - ・ 全身麻酔手術件数、緊急手術件数（必要に応じて診療科別件数等）
 - ・ 救急搬送受入件数（必要に応じて年齢区分別件数、経路区分別件数） 等
- 医師をはじめとする医療従事者の確保の見込み
- 医療機器の整備状況等の施設の整備状況
- 建物の築年数、各種補助金や繰入金の活用状況
- 医療機関へのアクセス 等

1-5 必要病床数の算出

○ 病床機能の概要

- ・ 第一義的には、医療法第30条の13に基づく病床機能報告上の報告事項の1つ（病床機能の区分を定める医療法施行規則はR8.7.10現在、未改正）
- ・ 地域医療構想では以下の内容等を定める（医療法第30条の3の3第2項）
 - ① 構想区域における病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量
 - ② 地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項 等

病床機能区分	(GL26ページ、参考：医療法施行規則第30条の33の2の5各号) 機能の内容
高度急性期機能	・ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	・ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
包括期機能	・ 高齢者等の急性期患者について、治療と入院早期からのリハビリ等を行い、早期の在宅復帰を目的とした治し支える医療を提供する機能 ・ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ・ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	・ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ・ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む。）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

- ・ 算出に用いる式は医療法施行規則で規定される（現行規定上、“Σ…”といった詳細なもの）
- ・ GL上で示された式のイメージは以下のとおり

必要病床数

=

[当該構想区域に所在する医療機関に入院する患者の 2040 年の性・年齢階級別の入院受療率 × 当該構想区域の 2040 年の性・年齢階級別推計人口] の総和を（病床稼働率）で除したもの

2 本県における検討のあり方のご提案

- 令和 8 年度に優先的に検討すべき事項
- 策定ロードマップ
- 検討体制・検討サイクル
- 構想区域の検討
- 急性期拠点機能を担う医療機関の決定

2-1 令和8年度において優先的に検討すべき事項は、以下のとおりとはどうか

○考え方（ガイドラインに基づくもの）

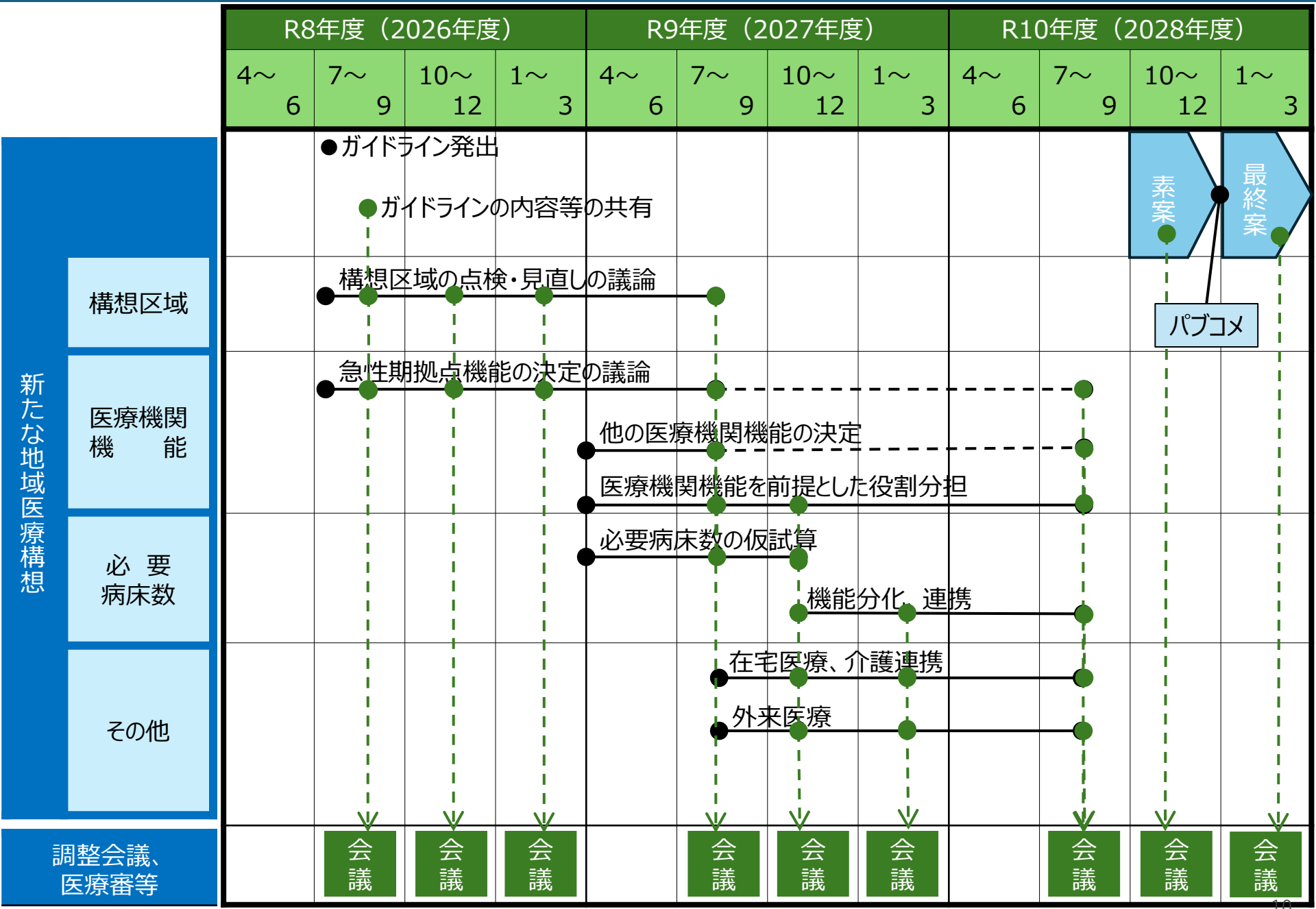
- ・ 構想区域は、医療提供体制の構築や必要病床数の運用、種々の取組の基本的単位
- ・ 構想区域の設定は、特に急性期拠点機能の確保の観点から検討されるべきもの



「構想区域の設定」と「急性期拠点機能を担う医療機関の決定」を優先的な検討事項としてどうか

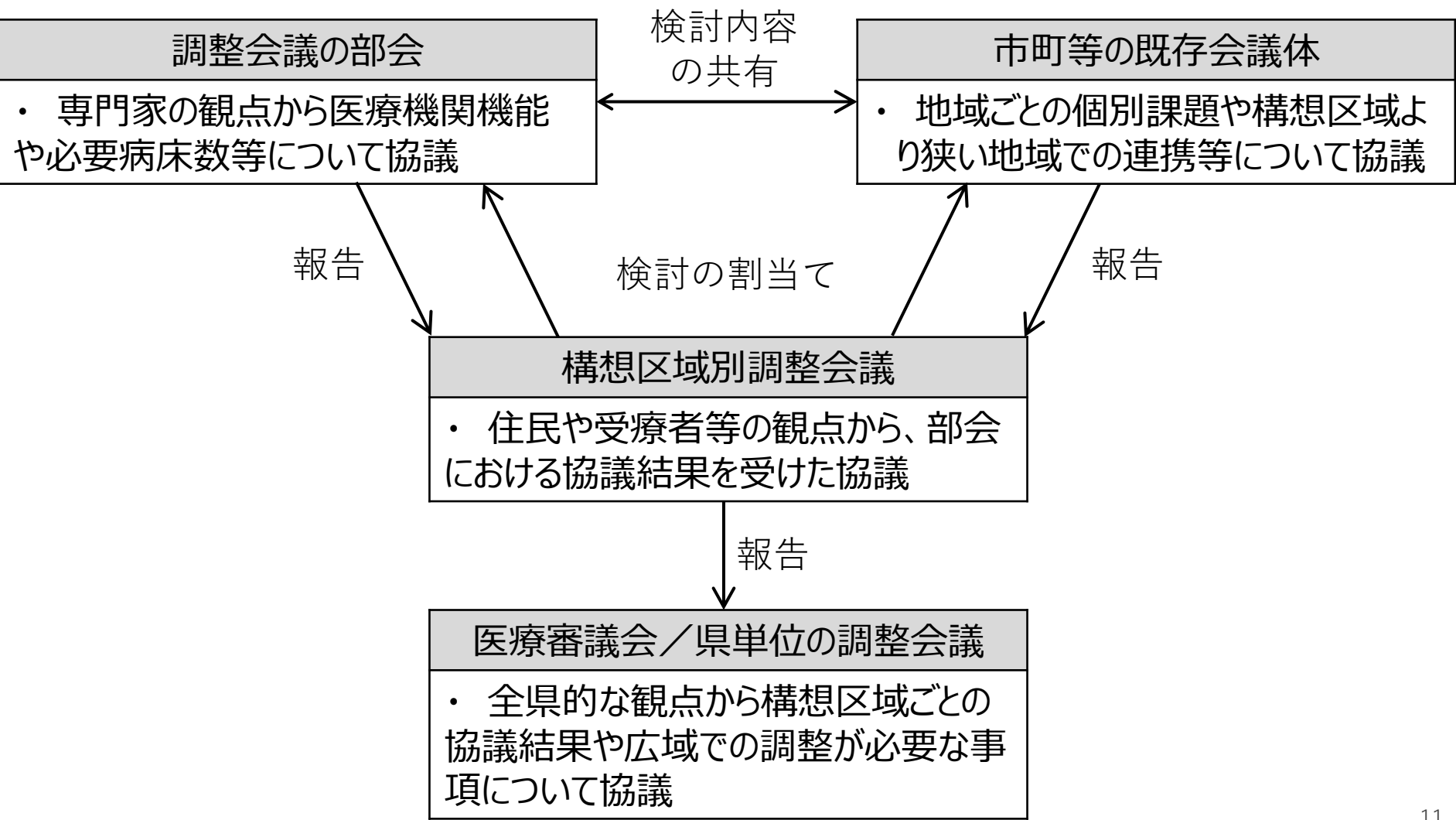
- ※ ただし、検討の過程では、他の医療機関機能や急性期以外のニーズも必要に応じ考慮
- ∴ 現有の医療資源やニーズの状況、見込みにより、各構想区域の急性期拠点機能と他の医療機関機能の医療機関の役割分担は変わりうるため

2-2 策定ロードマップ 2028年度末までの策定期間を以下のとおり割り振ってはどうか

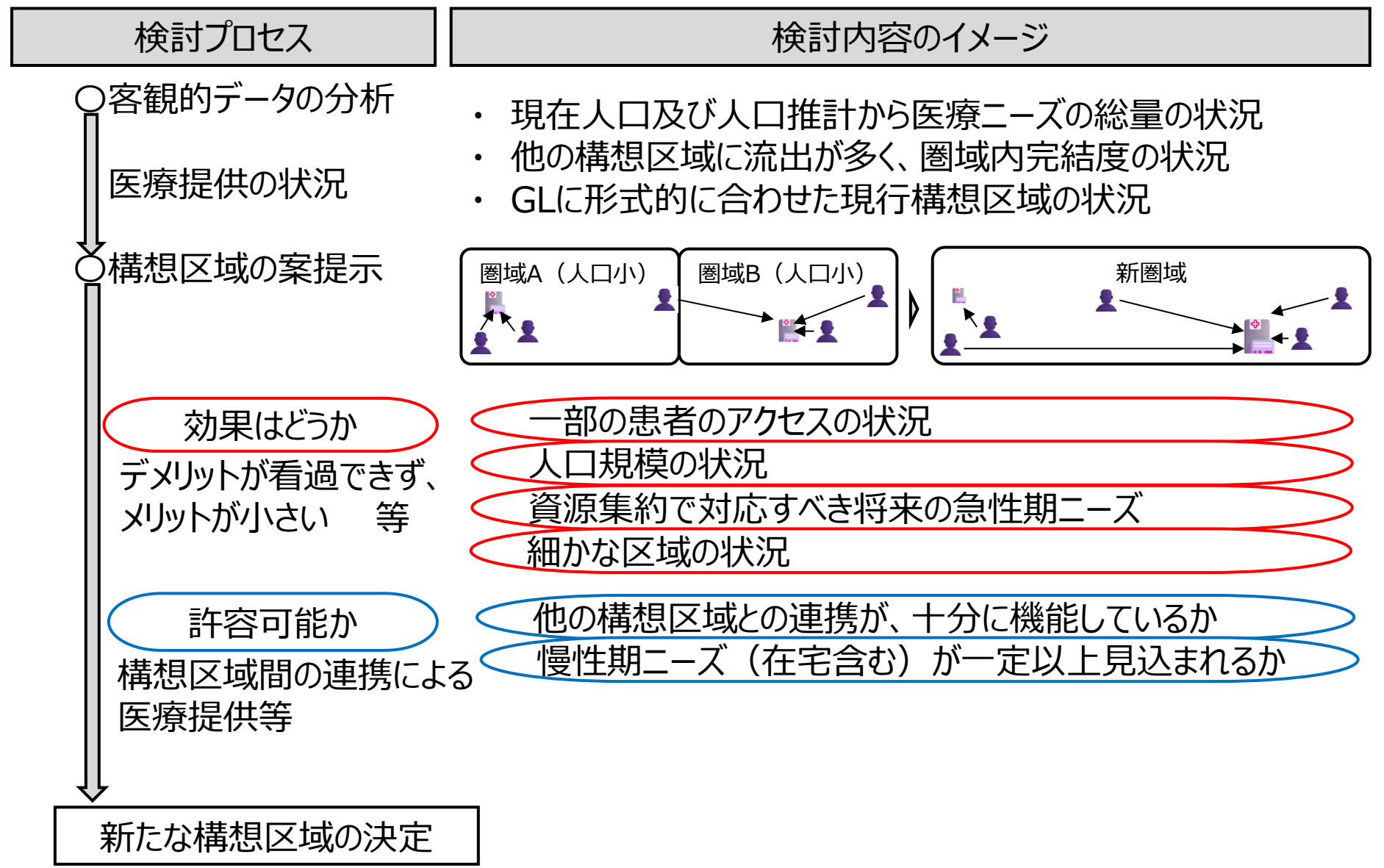


2-3 検討体制・サイクルは以下のとおりとはどうか

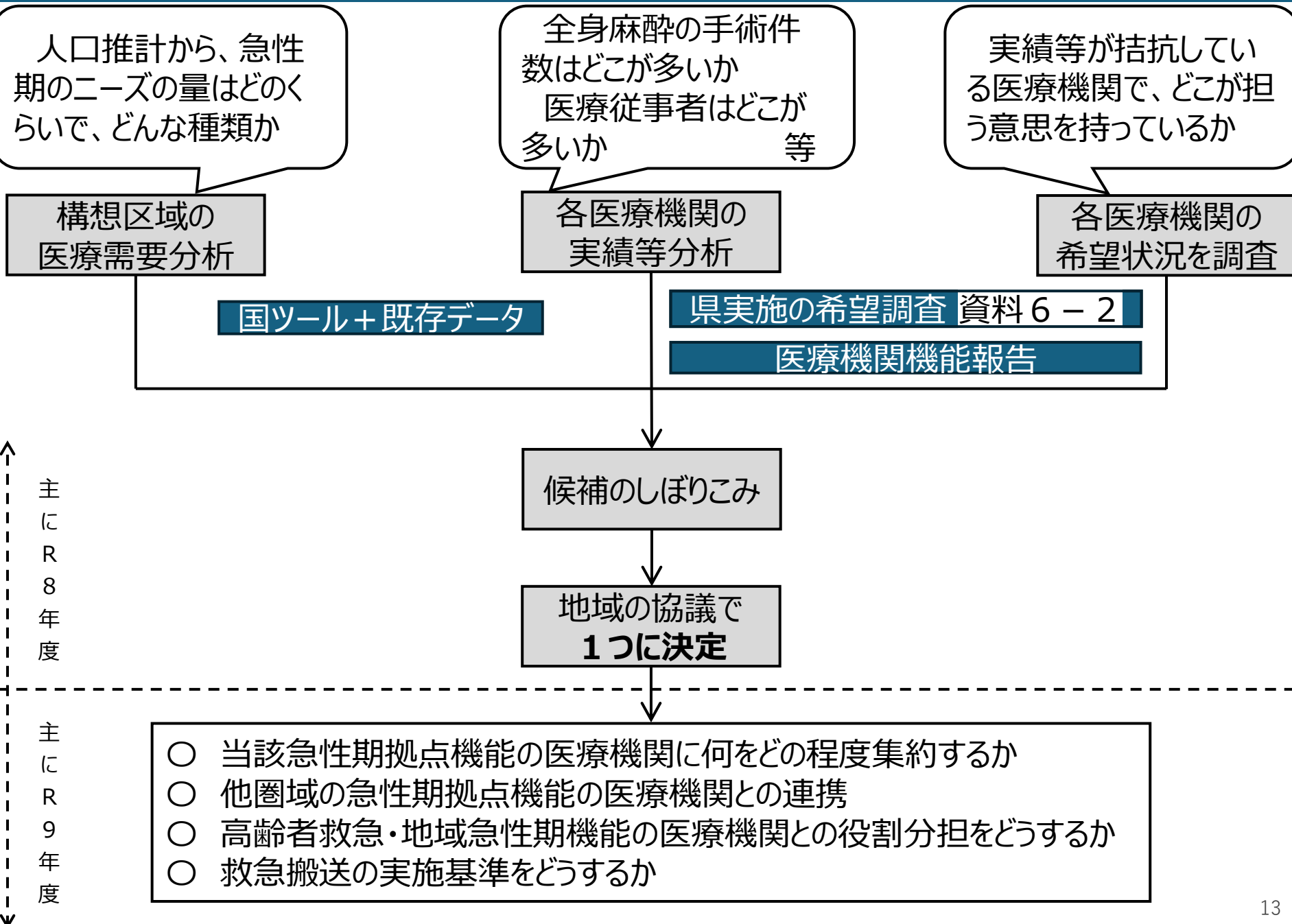
- ・ 議題や検討段階に応じ、部会等、適切な会議体で、専門的かつ十分な検討を確保
- ・ 構想区域別の調整会議の議論で様々な主体による検討を確保
- ・ 全県単位の会議の議論で県全体で整合的な検討を確保



2-4 構想区域の検討は以下のとおりとしてはどうか



2-5 急性期拠点機能を担う医療機関の決定手法は以下のとおりとしてはどうか



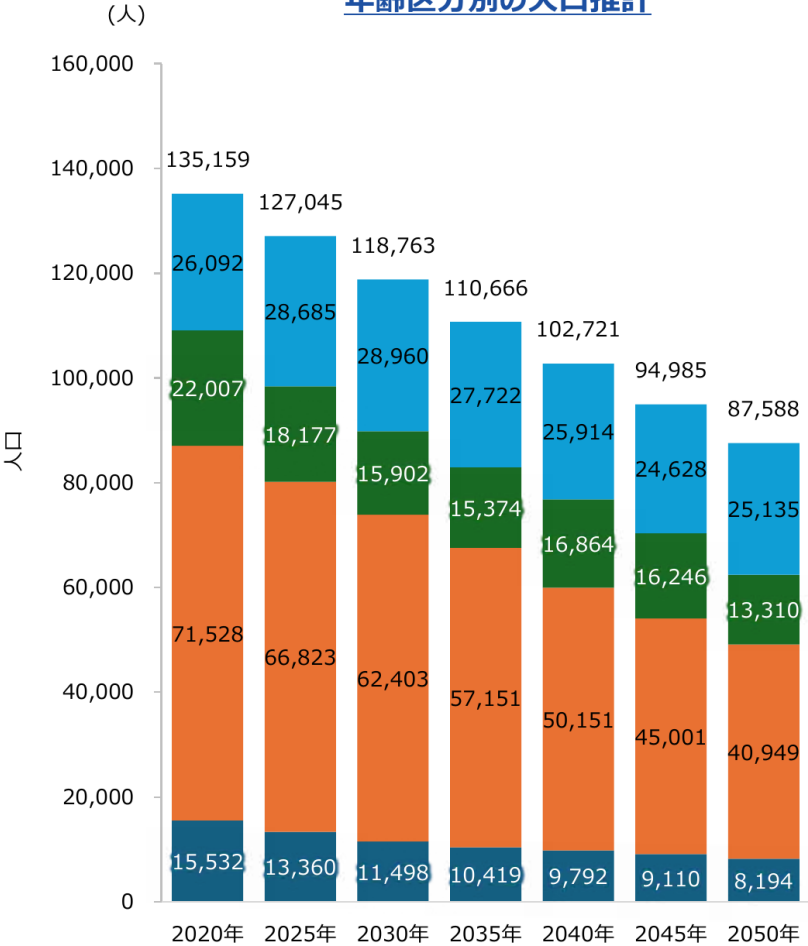
3 関係データのイメージ

※ 正式なデータ分析は国の推計ツール等を使用して別途行います

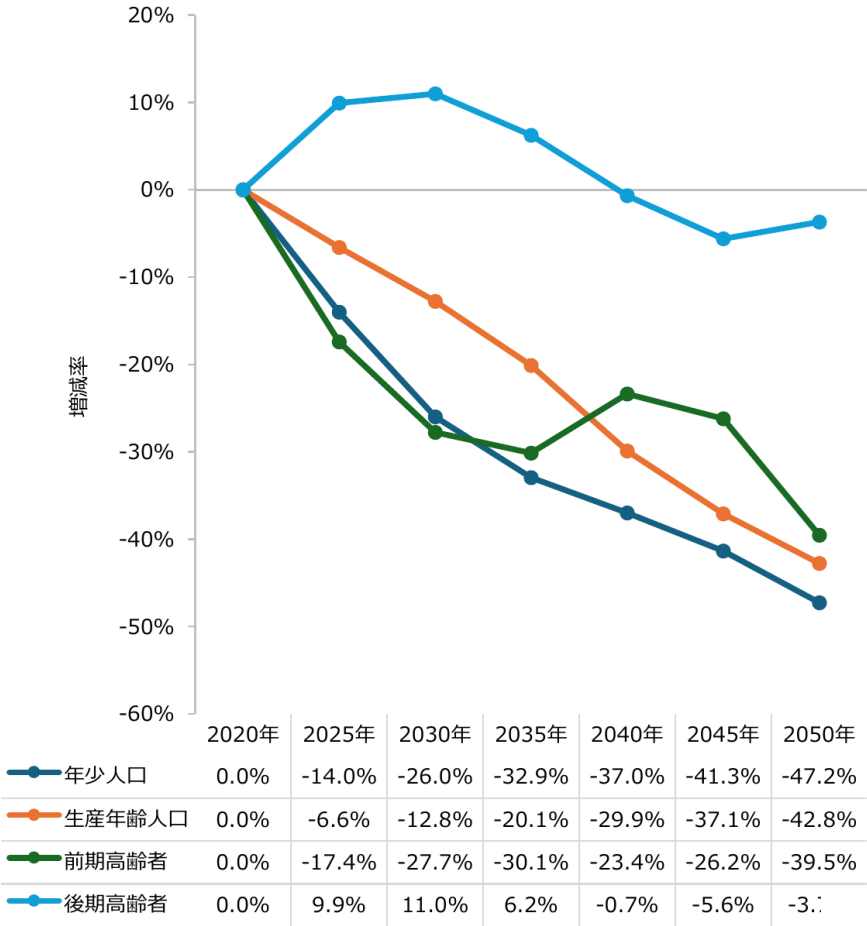
※ データの項目は議題の内容や検討状況により、随時、追加いたします

- 将来人口推計
- 患者の流出入
- 医療機関の配置状況
- 医療従事者の確保状況
- 医療（病院）へのアクセス
- 急性期拠点機能の関連データ

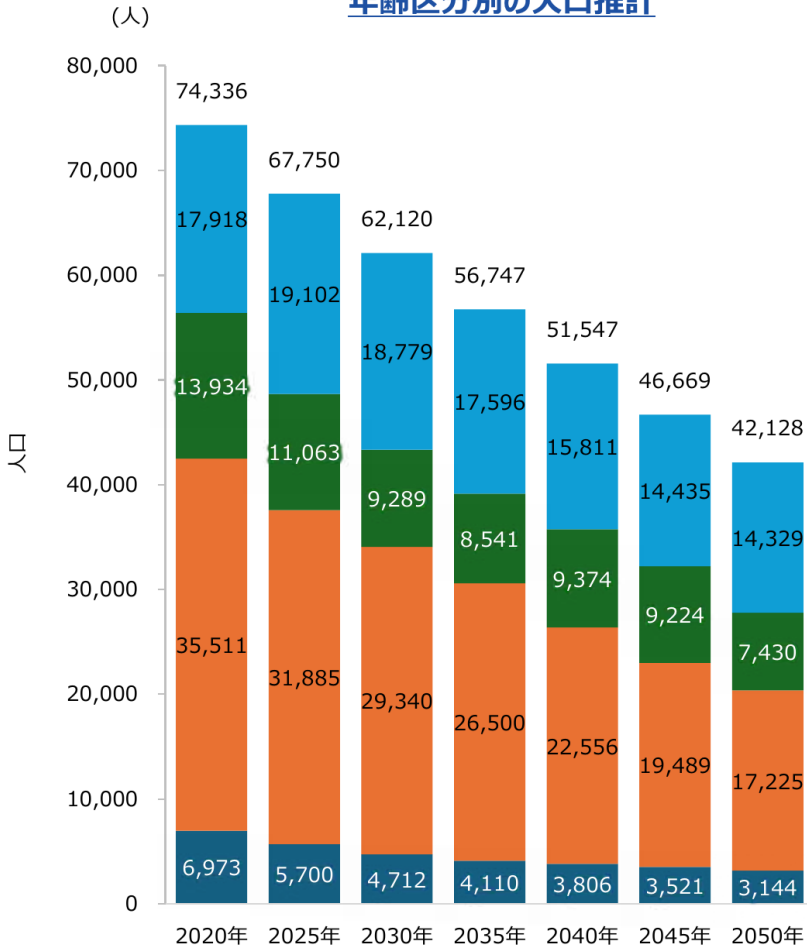
年齢区分別の人口推計



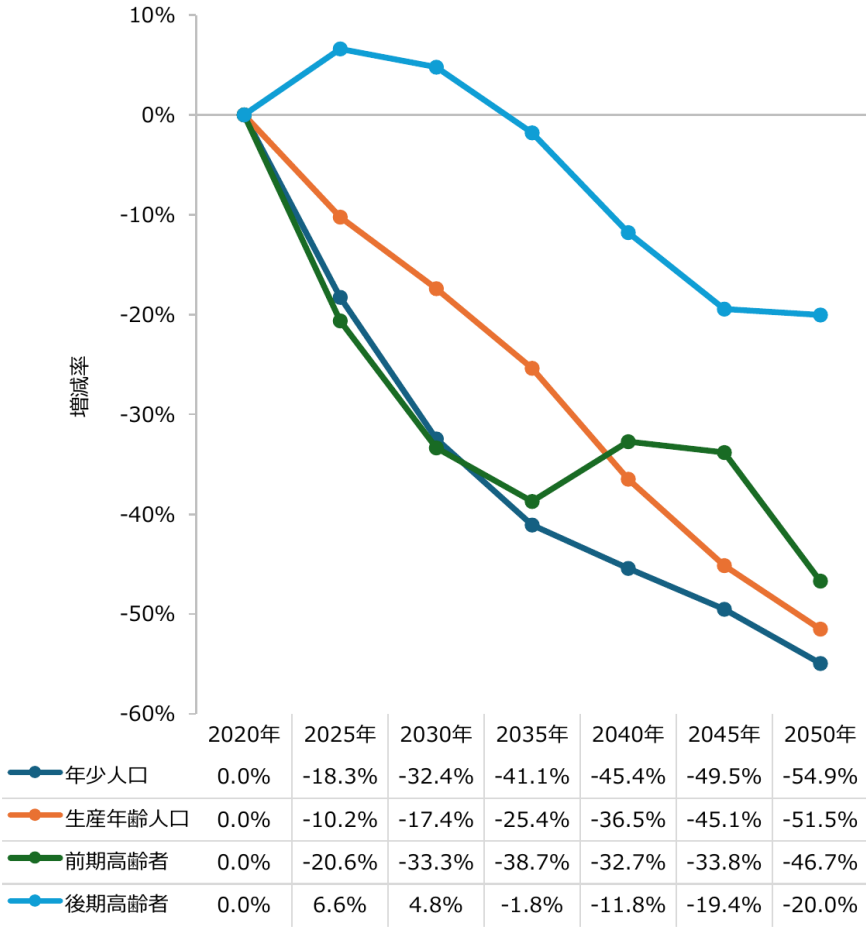
年齢区分別の人口増減率



年齢区分別の人口推計



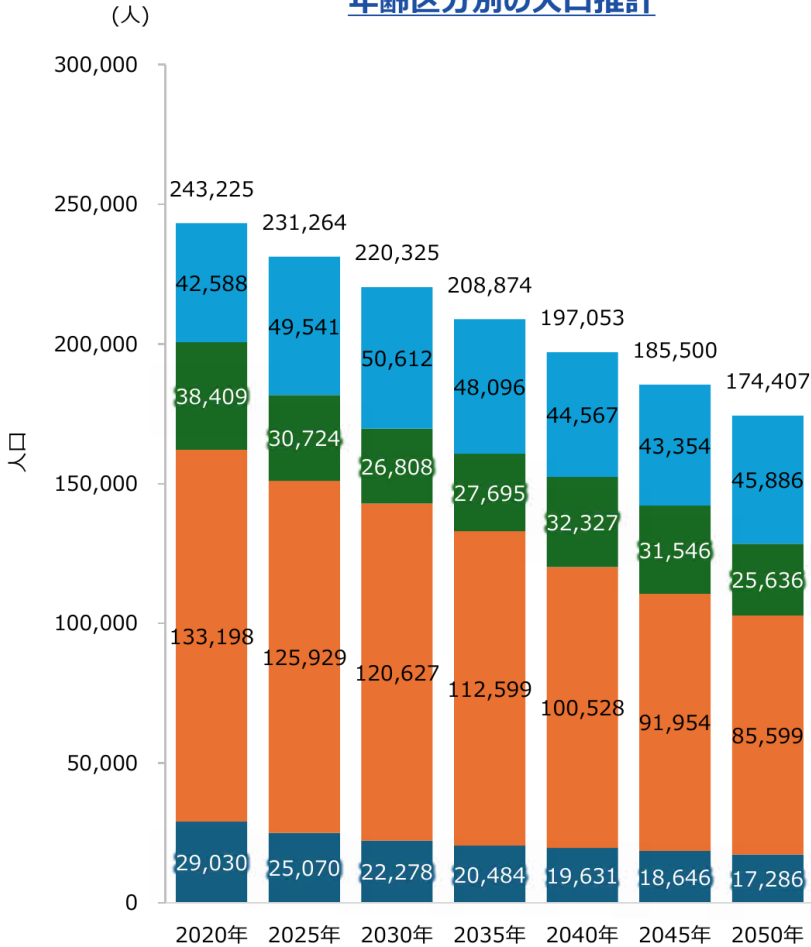
年齢区分別の人口増減率



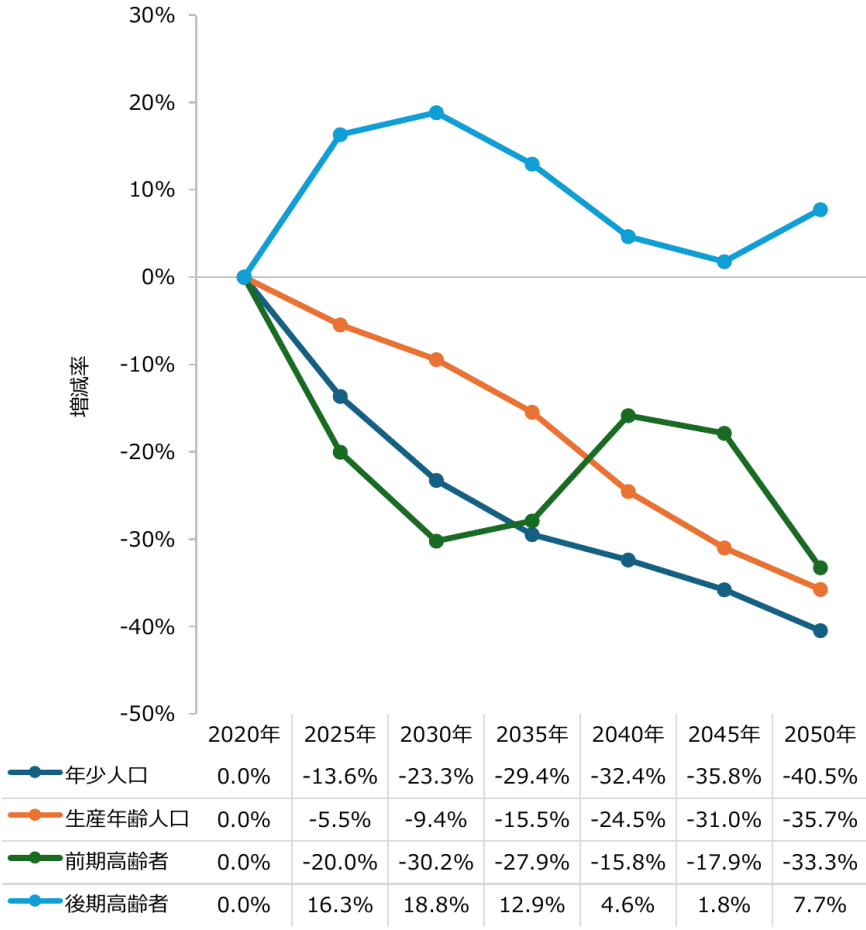
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

年齢区分別の人口推計



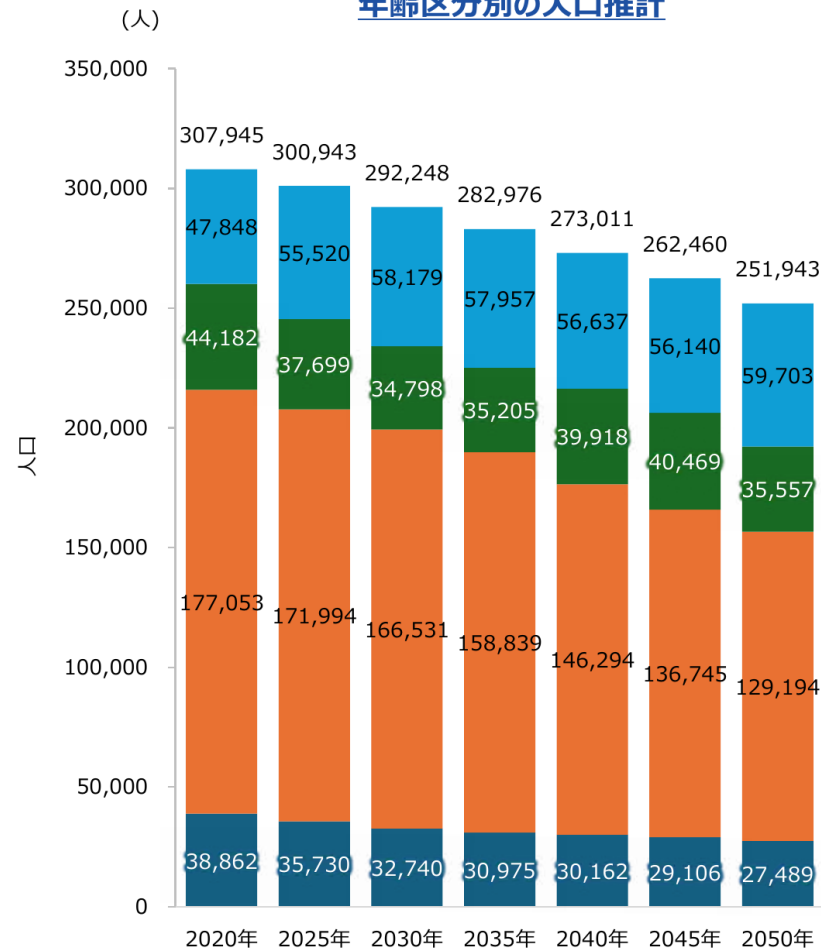
年齢区分別の人口増減率



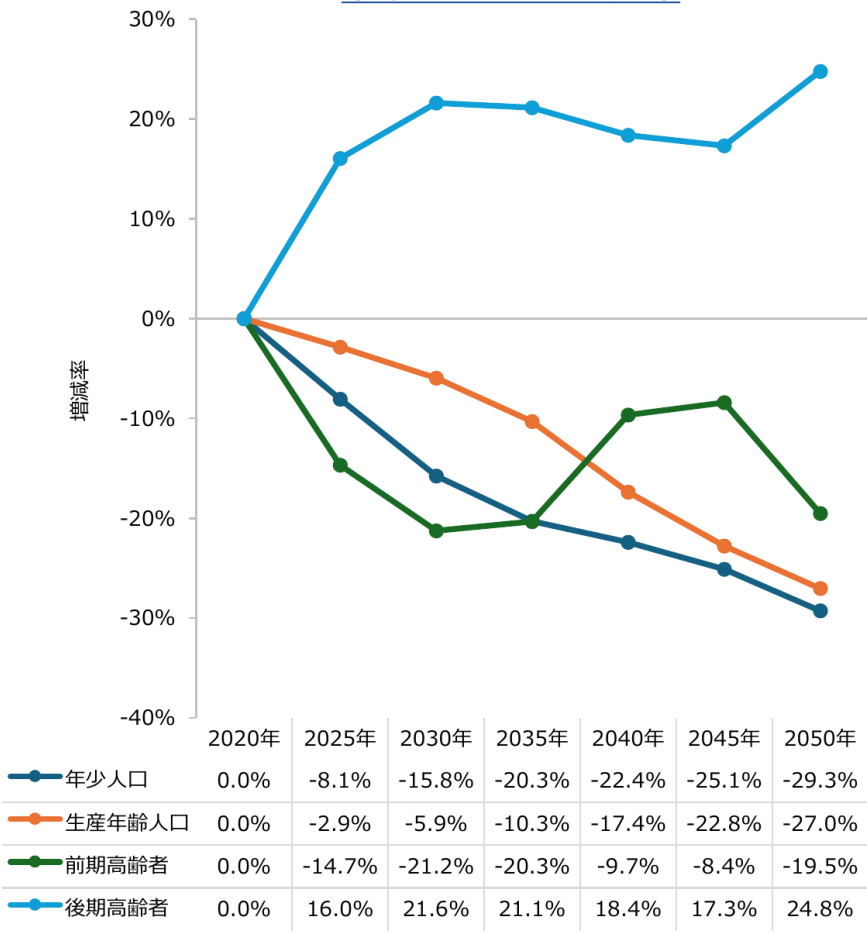
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

年齢区分別の人口推計

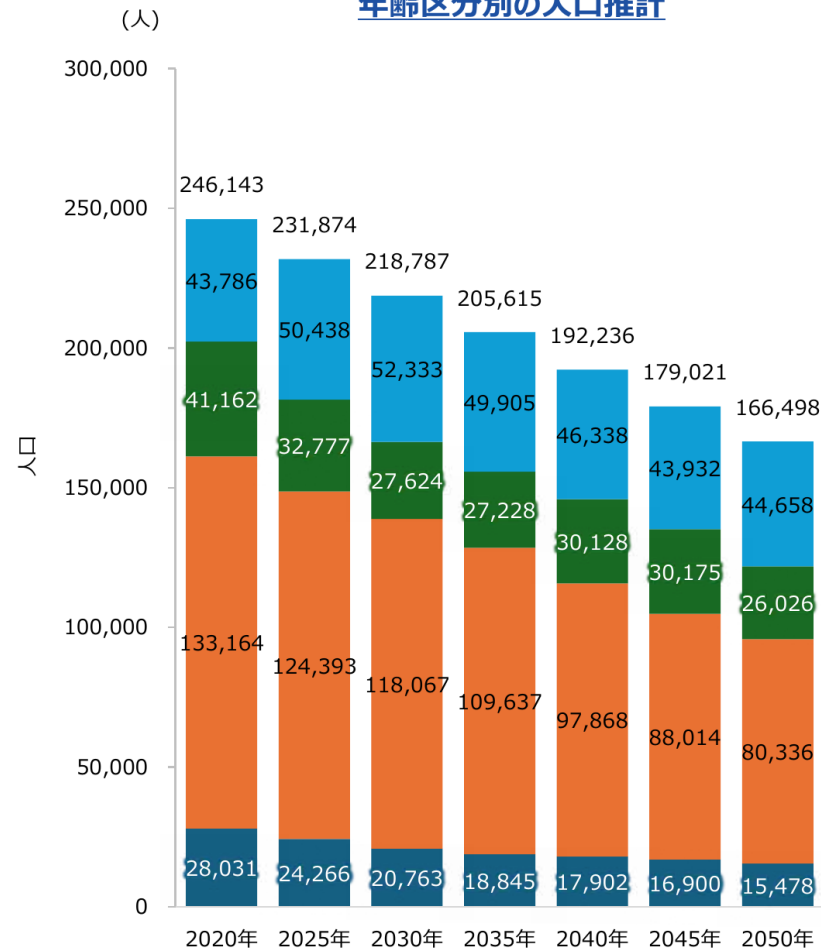


年齢区分別の人口増減率

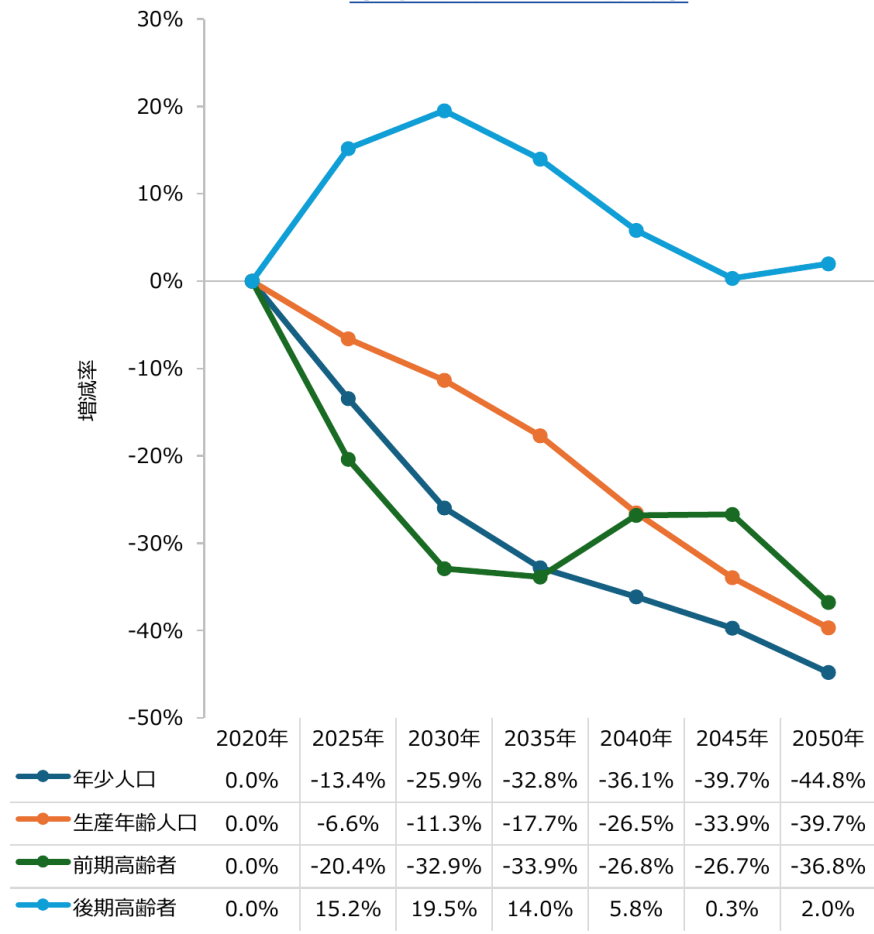


出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

年齢区分別の人口推計



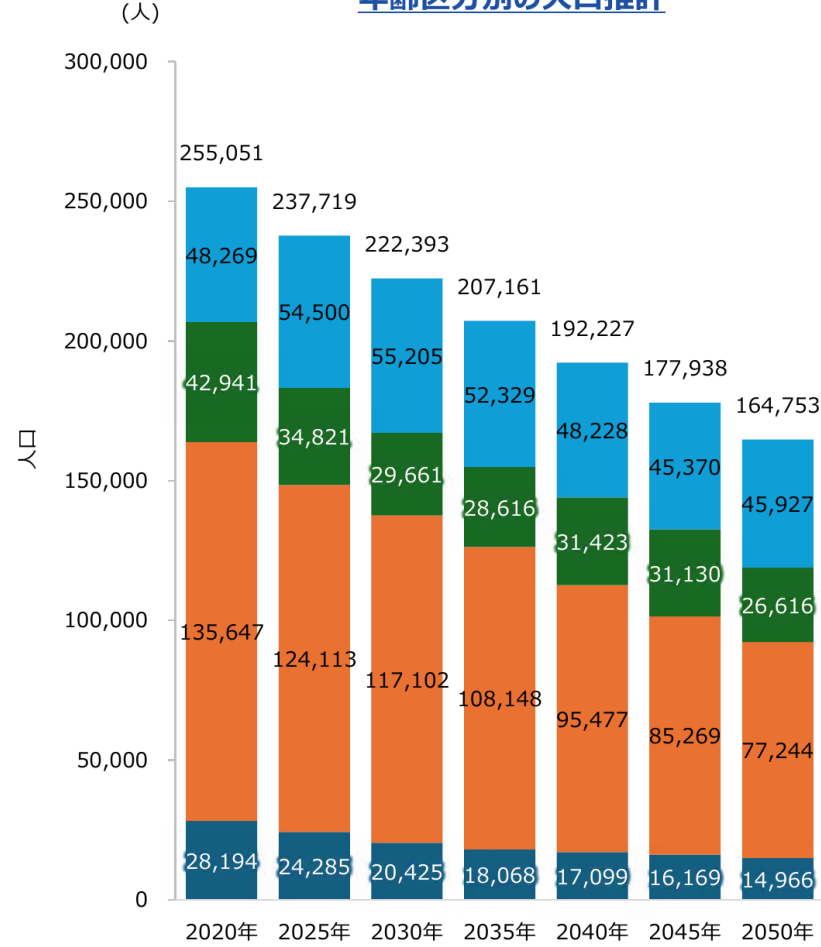
年齢区分別の人口増減率



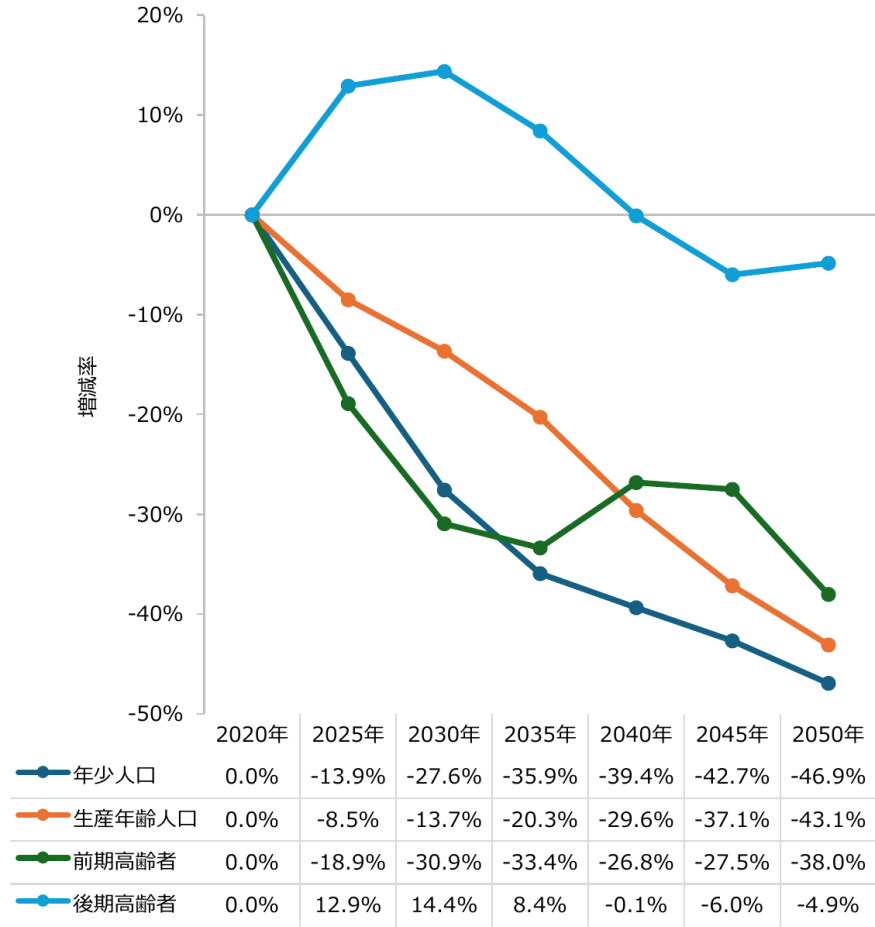
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

年齢区分別の人口推計

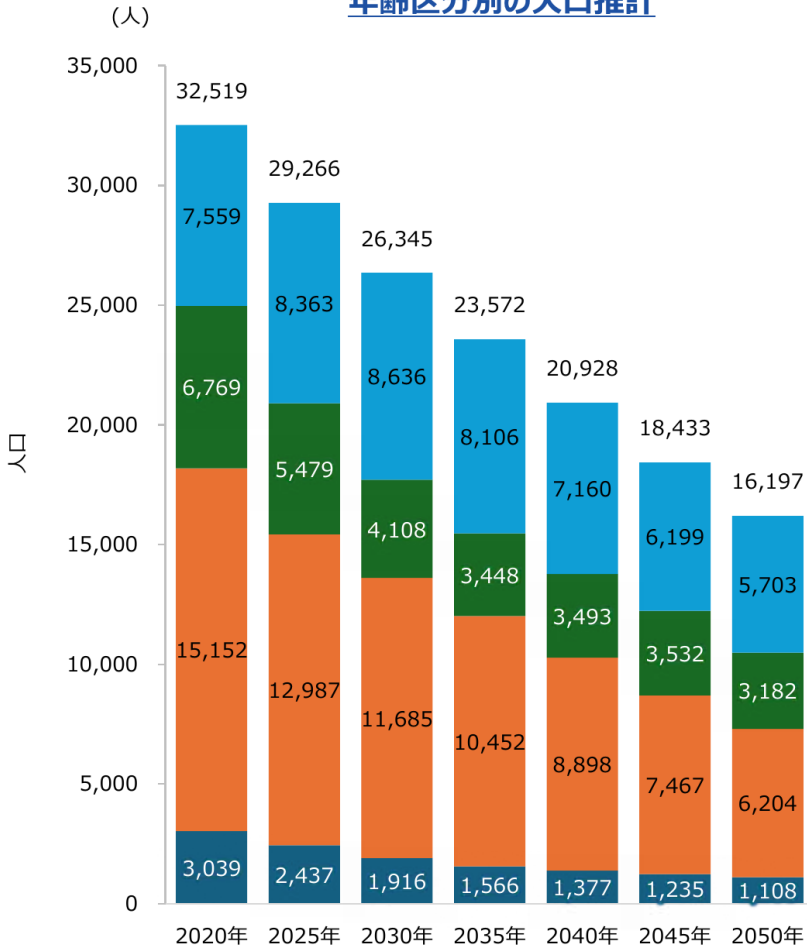


年齢区分別の人口増減率

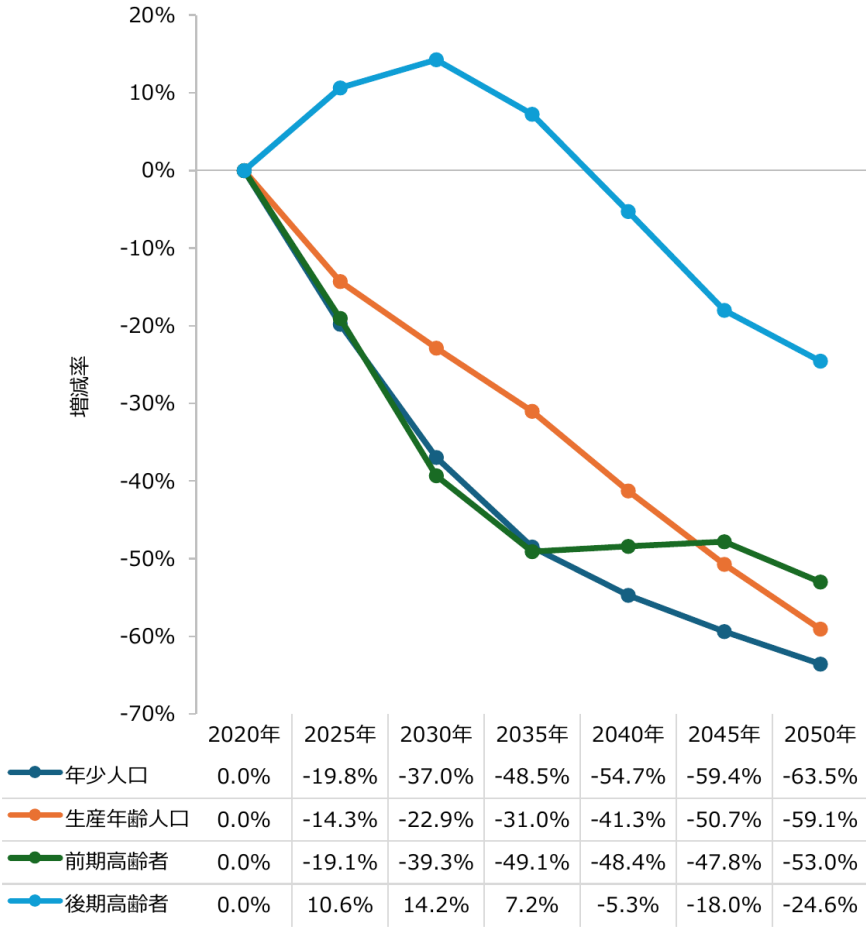


出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

年齢区分別の人口推計



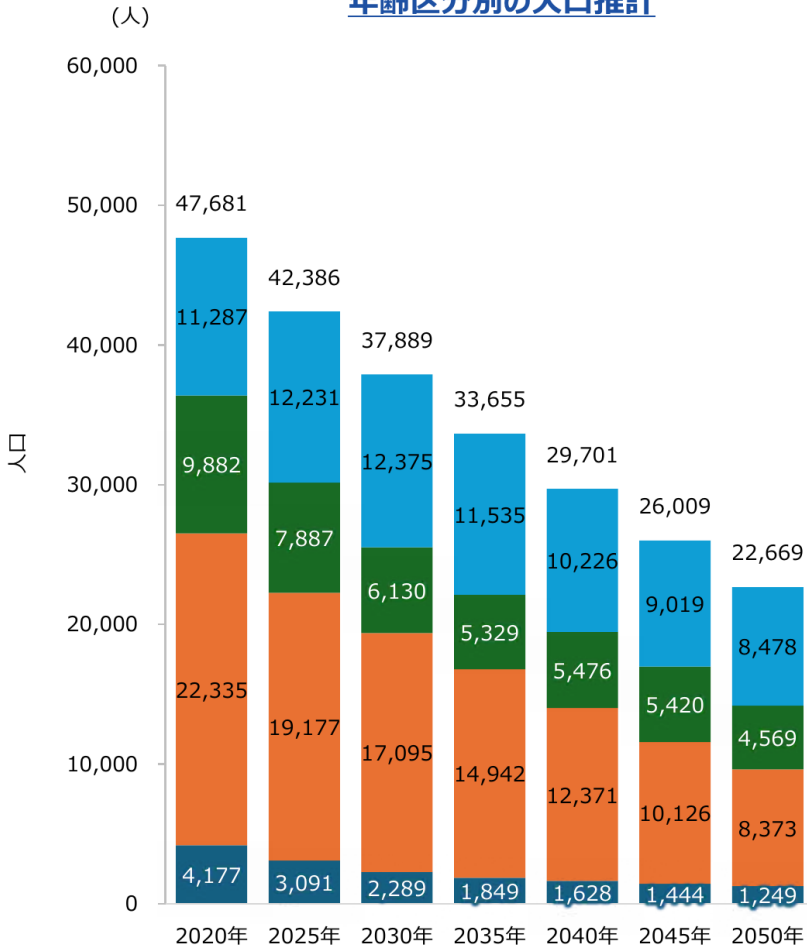
年齢区分別の人口増減率



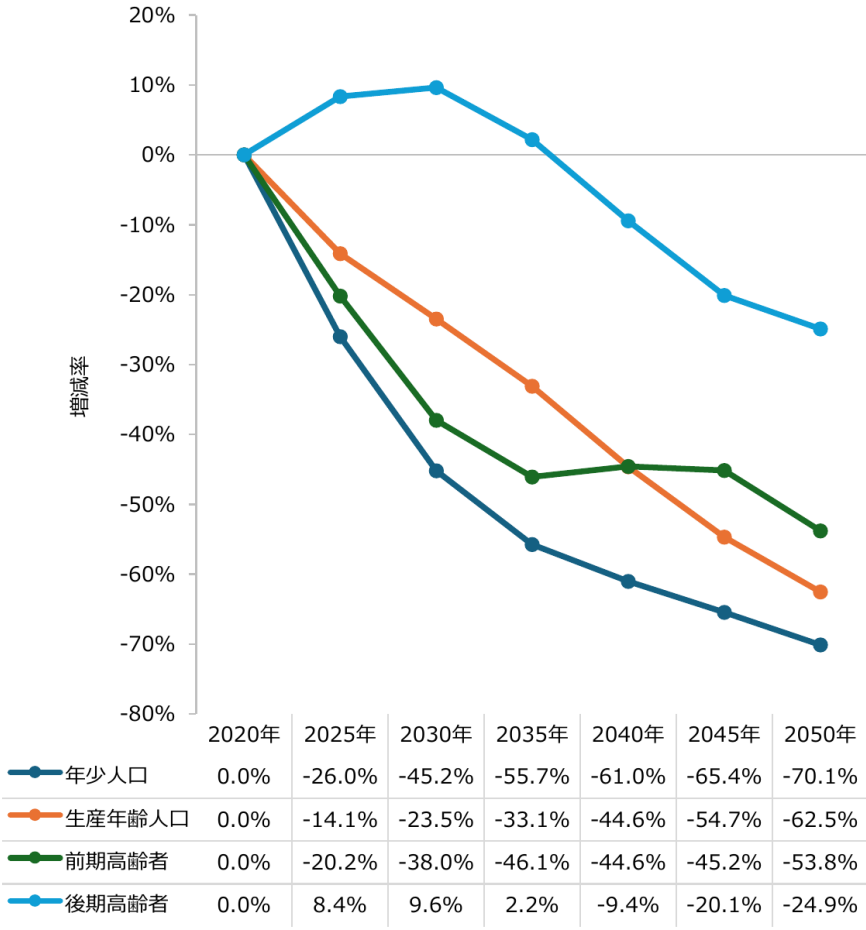
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

年齢区分別の人口推計



年齢区分別の人口増減率



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

県単位での流出入の状況

【流出】

患者住所が山口県の19.6千人を
どの県の施設が受け入れたか

山口県	18.8千人
広島県	0.5千人
福岡県	0.2千人

【流入】

山口県の施設が受け入れた19.2千人の
患者住所はどこか

山口県	18.8千人
島根県	0.1千人
広島県	0.1千人
福岡県	0.1千人

※ いずれの表も、数値が端数処理により「 0 」のものは省略

岩国圏域の流出入の状況（数値が端数処理により「0」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】患者住所が岩国圏域の1.8千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	1.3千人
	柳井	0.2千人
	周南	0.1千人
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0
	下関	-
	長門	-
	萩	-
広島県	広島	0.1千人
	広島西	0.2千人

【流入】岩国医療圏の施設が受け入れた
1.5千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	1.3千人
	柳井	0.1千人
	周南	0
	山口・防府	0
	宇部・小野田	-
	下関	-
	長門	-
	萩	-

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.2	0.2	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0	0.1	▲0.1
V 精神	0.3	0.3	0
VI 神経系	0.2	0.3	▲0.1
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.2	0.3	▲0.1
X 呼吸器	0.1	0.1	0
X I 消化器	0.1	0.1	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0.1	0.1	0
X IV 腎尿路	0	0.1	▲0.1
X V 妊娠，分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状，徴候	0	0	0
X IX 損傷，中毒	0.2	0.2	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	1.4	1.8	▲0.4

出典元：令和5年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

柳井圏域の流出入の状況（数値が端数処理により「0」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が柳井圏域の1.3千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	0.1千人
	柳井	1.0千人
	周南	0.1千人
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0
	下関	-
	長門	-
	萩	-
広島県		0.1千人

【流入】 柳井医療圏の施設が受け入れた
1.4千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	0.2千人
	柳井	1.0千人
	周南	0.1千人
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0
	下関	0
	長門	-
	萩	0

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.1	0.1	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0	0	0
V 精神	0.4	0.4	0
VI 神経系	0.2	0.2	0
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.1	0.1	0
X 呼吸器	0.1	0.1	0
X I 消化器	0	0	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0	0	0
X IV 腎尿路	0.1	0	0.1
X V 妊娠, 分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状, 徴候	0	0	0
X IX 損傷, 中毒	0.1	0.1	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	1.1	1.0	0.1

出典元：令和5年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

周南圏域の流出入の状況（数値が端数処理により「0」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が周南圏域の3.0千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	0
	柳井	0.1千人
	周南	2.6千人
	山口・防府	0.1千人
	宇部・小野田	0.1千人
	下関	0
	長門	-
	萩	-

【流入】 周南医療圏の施設が受け入れた
3.0千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	0.1千人
	柳井	0.1千人
	周南	2.6千人
	山口・防府	0.1千人
	宇部・小野田	0
	下関	-
	長門	0
	萩	0

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.3	0.3	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0.1	0
V 精神	0.5	0.5	0
VI 神経系	0.4	0.4	0
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.5	0.5	0
X 呼吸器	0.2	0.2	0
X I 消化器	0.1	0.1	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0.1	0.2	▲0.1
X IV 腎尿路	0.1	0.1	0
X V 妊娠, 分娩	0.1	0	0.1
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状, 徴候	0	0	0
X IX 損傷, 中毒	0.4	0.4	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	2.8	2.8	0

出典元：令和5年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

山口・防府圏域の流出入の状況（数値が端数処理により「 0 」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が山口・防府圏域の3.6千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	0
	柳井	0
	周南	0.1千人
	山口・防府	3.0千人
	宇部・小野田	0.3千人
	下関	0
	長門	-
	萩	0

【流入】 山口・防府医療圏の施設が受け入れた
3.6千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	0
	柳井	0
	周南	0.1千人
	山口・防府	3.0千人
	宇部・小野田	0.2千人
	下関	0
	長門	0
	萩	0.1

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.3	0.3	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0.1	0
V 精神	0.7	0.7	0
VI 神経系	0.4	0.5	▲0.1
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.5	0.5	0
X 呼吸器	0.3	0.3	0
X I 消化器	0.2	0.2	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0.3	0.2	0.1
X IV 腎尿路	0.1	0.1	0
X V 妊娠，分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状，徴候	0	0	0
X IX 損傷，中毒	0.4	0.4	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	3.3	3.3	0

宇部・小野田圏域の流出入の状況（数値が端数処理により「0」のものは省略（山口県内は記載））

【流出】 患者住所が宇部・小野田圏域の4.1千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	-
	柳井	0
	周南	0
	山口・防府	0.2千人
	宇部・小野田	3.8千人
	下関	0.1千人
	長門	0
	萩	0

【流入】 宇部・小野田医療圏の施設が受け入れた
4.4千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	0
	柳井	0
	周南	0.1千人
	山口・防府	0.3千人
	宇部・小野田	3.8千人
	下関	0.1千人
	長門	0
	萩	0.1千人

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.5	0.4	0.1
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0.1	0
V 精神	0.8	0.7	0.1
VI 神経系	0.7	0.5	0.2
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.7	0.7	0
X 呼吸器	0.3	0.3	0
X I 消化器	0.2	0.2	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0.2	0.2	0
X IV 腎尿路	0.2	0.2	0
X V 妊娠，分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状，徴候	0.1	0.1	0
X IX 損傷，中毒	0.4	0.4	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0.1	0.1	0
総数	4.3	3.9	0.4

【流出】 患者住所が下関圏域の4.0千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	-
	柳井	0
	周南	-
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0.1千人
	下関	3.7千人
	長門	0
	萩	0
福岡県	北九州	0.1千人

【流入】 下関医療圏の施設が受け入れた
3.9千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	-
	柳井	-
	周南	0
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0.1千人
	下関	3.7千人
	長門	0
	萩	0

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.4	0.4	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0.1	0
V 精神	0.8	0.8	0
VI 神経系	0.6	0.6	0
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.6	0.6	0
X 呼吸器	0.2	0.2	0
X I 消化器	0.1	0.1	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0.3	0.3	0
X IV 腎尿路	0.2	0.2	0
X V 妊娠, 分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状, 徴候	0	0	0
X IX 損傷, 中毒	0.3	0.4	▲0.1
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	3.6	3.7	▲0.1

【流出】 患者住所が長門圏域の0.7千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	-
	柳井	-
	周南	0
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0
	下関	0
	長門	0.6千人
	萩	0

【流入】 長門医療圏の施設が受け入れた
0.7千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	-
	柳井	-
	周南	-
	山口・防府	-
	宇部・小野田	0
	下関	0
	長門	0.6千人
	萩	0.1千人

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0.1	0.1	0
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0	0	0
V 精神	0.1	0.1	0
VI 神経系	0.2	0.2	0
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0	0.1	▲0.1
X 呼吸器	0.1	0.1	0
X I 消化器	0	0	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0	0	0
X IV 腎尿路	0.1	0.1	0
X V 妊娠，分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状，徴候	0	0	0
X IX 損傷，中毒	0.1	0.1	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	0.7	0.8	▲0.1

出典元：令和5年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

【流出】 患者住所が萩圏域の1.0千人を
どの医療圏の施設が受け入れたか

山口県	岩国	-
	柳井	0
	周南	0
	山口・防府	0.1千人
	宇部・小野田	0.1千人
	下関	0
	長門	0.1千人
	萩	0.7千人

【流入】 萩医療圏の施設が受け入れた
0.8千人の患者住所はどこか

山口県	岩国	-
	柳井	-
	周南	0
	山口・防府	0
	宇部・小野田	0
	下関	0
	長門	0
	萩	0.7千人

【ICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入】

傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0	0	0
II 新生物	0	0.1	▲0.1
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0	0.1
V 精神	0.1	0.2	▲0.1
VI 神経系	0.1	0.1	0
VII 眼	0	0	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	0.2	0.2	0
X 呼吸器	0.1	0.1	0
X I 消化器	0	0	0
X II 皮膚	0	0	0
X III 筋骨格	0	0.1	▲0.1
X IV 腎尿路	0.1	0	0.1
X V 妊娠, 分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状, 徴候	0	0	0
X IX 損傷, 中毒	0.1	0.1	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0	0	0
総数	0.8	0.9	▲0.1

出典元：令和5年患者調査（厚生労働省）、医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

入院患者数推計

岩国医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	19	20	20	20	19	17	17
II 新生物＜腫瘍＞	194	194	189	181	173	163	156
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11	11	11	11	11	10	9
IV 内分泌，栄養及び代謝疾患	63	65	65	66	63	59	57
V 精神及び行動の障害	399	383	369	351	332	310	288
VI 神経系の疾患	293	299	298	299	286	269	257
VII 眼及び付属器の疾患	11	11	11	10	10	9	9
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3	3	3	2	2	2	2
IX 循環器系の疾患	308	317	319	324	313	294	280
X 呼吸器系の疾患	143	150	153	159	155	145	138
X I 消化器系の疾患	85	85	84	84	80	75	71
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	23	23	24	24	22	21	20
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	125	127	127	127	121	114	109
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	97	99	100	100	96	90	86
X V 妊娠，分娩及び産じょく	13	12	11	10	10	9	7
X VI 周産期に発生した病態	10	8	8	7	7	6	5
X VII 先天奇形，変形及び染色体異常	4	4	3	3	3	3	2
X VIII 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	29	30	30	31	30	28	26
X IX 損傷，中毒及びその他の外因の影響	229	234	235	240	231	216	205
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4	4	4	4	3	3	3
X X II 特殊目的用コード	23	24	24	25	25	23	22
総数	2,083	2,101	2,087	2,078	1,992	1,867	1,771

柳井医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	12	12	12	12	11	10	9
II 新生物＜腫瘍＞	124	120	115	107	100	92	86
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7	7	7	7	6	6	5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	42	42	41	41	38	35	32
V 精神及び行動の障害	244	227	214	200	185	168	152
VI 神経系の疾患	193	190	186	184	171	155	144
VII 眼及び付属器の疾患	7	7	7	6	6	5	5
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	2	1	1	1	1
IX 循環器系の疾患	206	205	202	203	189	173	159
X 呼吸器系の疾患	97	97	98	100	94	86	79
X I 消化器系の疾患	54	53	51	50	47	43	39
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	15	15	15	15	13	12	11
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	82	81	79	78	72	66	61
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	64	63	62	62	58	52	48
X V 妊娠、分娩及び産じょく	6	5	4	4	4	3	3
X VI 周産期に発生した病態	4	3	3	3	3	2	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	2	2	2	1	1	1	1
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19	19	19	19	18	16	15
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	152	150	148	149	139	126	116
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2	2	2	2	2	2	2
X X II 特殊目的用コード	16	15	16	16	15	14	13
総数	1,351	1,318	1,285	1,260	1,173	1,069	982

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

周南医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	31	33	34	35	33	31	31
II 新生物＜腫瘍＞	330	337	333	322	310	299	293
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17	18	18	19	19	18	17
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	101	108	113	116	113	106	103
V 精神及び行動の障害	689	674	662	642	617	586	553
VI 神経系の疾患	477	505	523	532	511	483	469
VII 眼及び付属器の疾患	19	20	19	18	17	17	17
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5	5	5	4	4	4	4
IX 循環器系の疾患	493	528	555	575	555	523	506
X 呼吸器系の疾患	226	246	265	280	271	253	246
X I 消化器系の疾患	140	145	148	150	144	136	131
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	37	40	41	42	40	38	37
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	204	216	223	226	217	204	198
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	157	167	174	178	171	161	157
X V 妊娠、分娩及び産じょく	24	21	20	19	18	17	15
X VI 周産期に発生した病態	20	16	15	15	14	13	12
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	8	7	7	6	6	5	5
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	45	49	52	54	52	49	48
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	365	391	412	430	413	387	372
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7	7	7	6	6	6	6
X X II 特殊目的用コード	35	39	42	45	44	41	39
総数	3,428	3,571	3,669	3,714	3,575	3,377	3,257

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

山口・防府医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	37	39	41	42	42	41	41
II 新生物＜腫瘍＞	382	397	402	401	399	393	392
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20	21	22	24	24	23	23
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	119	127	132	140	141	138	138
V 精神及び行動の障害	820	818	820	814	802	780	752
VI 神経系の疾患	567	601	621	648	648	633	631
VII 眼及び付属器の疾患	22	23	23	23	22	22	22
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5	6	6	5	5	5	6
IX 循環器系の疾患	584	623	650	692	696	681	678
X 呼吸器系の疾患	270	291	307	335	339	330	330
X I 消化器系の疾患	167	174	178	185	184	179	177
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	43	47	49	51	51	49	49
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	241	255	264	275	275	268	267
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	186	198	206	216	216	211	211
X V 妊娠、分娩及び産じょく	35	33	32	30	29	28	25
X VI 周産期に発生した病態	26	24	23	22	22	20	19
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	11	10	10	9	9	8	8
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	54	58	61	65	65	64	64
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	441	468	488	520	522	508	503
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	9	9	8	8	8	8
X X II 特殊目的用コード	42	45	48	53	54	53	53
総数	4,079	4,266	4,390	4,558	4,552	4,444	4,394

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

宇部・小野田医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	32	34	35	35	34	31	30
II 新生物＜腫瘍＞	339	343	338	324	310	294	284
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18	18	19	20	19	18	17
IV 内分泌，栄養及び代謝疾患	107	112	115	118	115	108	103
V 精神及び行動の障害	708	682	661	636	607	571	533
VI 神経系の疾患	503	523	530	539	521	488	465
VII 眼及び付属器の疾患	20	20	20	18	17	17	16
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5	5	5	5	4	4	4
IX 循環器系の疾患	524	549	561	582	568	530	504
X 呼吸器系の疾患	241	256	266	284	278	258	245
X I 消化器系の疾患	146	149	149	150	145	136	129
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	39	41	42	42	41	38	36
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	215	222	226	229	221	206	196
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	165	173	176	180	174	163	155
X V 妊娠，分娩及び産じょく	25	22	21	20	18	17	15
X VI 周産期に発生した病態	18	15	14	14	13	12	10
X VII 先天奇形，変形及び染色体異常	8	7	7	6	5	5	5
X VIII 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	49	51	53	55	54	50	48
X IX 損傷，中毒及びその他の外因の影響	391	408	417	436	425	395	373
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7	7	7	6	6	6	6
X X II 特殊目的用コード	38	40	42	45	45	42	39
総数	3,599	3,678	3,702	3,745	3,621	3,387	3,211

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

下関医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	35	37	37	37	35	32	31
II 新生物＜腫瘍＞	362	364	354	337	320	302	289
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20	20	20	20	20	18	17
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	116	121	122	123	119	111	105
V 精神及び行動の障害	751	721	692	659	624	583	539
VI 神経系の疾患	544	562	561	562	537	500	474
VII 眼及び付属器の疾患	21	22	21	19	18	17	17
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5	6	5	5	4	4	4
IX 循環器系の疾患	568	593	597	608	585	544	515
X 呼吸器系の疾患	262	277	282	295	285	264	250
X I 消化器系の疾患	157	159	157	156	149	139	131
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	42	44	44	44	42	39	37
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	232	239	239	239	228	212	200
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	179	186	186	187	179	167	158
X V 妊娠、分娩及び産じょく	25	21	19	18	18	16	14
X VI 周産期に発生した病態	18	15	13	13	12	11	10
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	8	7	7	6	5	5	4
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53	55	56	58	55	51	49
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	424	440	444	455	437	404	380
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	8	7	7	6	6	6
X X II 特殊目的用コード	42	44	45	47	46	43	40
総数	3,870	3,938	3,908	3,896	3,723	3,468	3,272

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

長門医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	5	5	5	5	5	4	4
II 新生物＜腫瘍＞	54	53	51	47	42	38	34
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	3	3	3	3	2	2
IV 内分泌，栄養及び代謝疾患	18	19	18	18	17	15	13
V 精神及び行動の障害	109	101	93	85	78	69	61
VI 神経系の疾患	84	85	82	81	76	67	59
VII 眼及び付属器の疾患	3	3	3	3	2	2	2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	1	1	1	1	1	0
IX 循環器系の疾患	89	91	89	89	85	75	66
X 呼吸器系の疾患	42	43	42	44	42	37	32
X I 消化器系の疾患	24	23	22	22	20	18	16
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	7	7	7	6	6	5	5
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	36	36	35	34	32	28	25
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	28	28	27	27	26	23	20
X V 妊娠，分娩及び産じょく	3	2	2	1	1	1	1
X VI 周産期に発生した病態	2	1	1	1	1	1	1
X VII 先天奇形，変形及び染色体異常	1	1	1	1	0	0	0
X VIII 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8	9	8	8	8	7	6
X IX 損傷，中毒及びその他の外因の影響	66	67	65	66	63	55	48
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1	1	1	1	1	1	1
X X II 特殊目的用コード	7	7	7	7	7	6	5
総数	589	586	564	550	515	456	402

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

萩医療圏 | ICD別の入院患者数推計

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	8	8	8	8	7	6	6
II 新生物＜腫瘍＞	81	78	74	68	62	56	50
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	4	4	4	4	4	3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	27	27	26	26	24	22	19
V 精神及び行動の障害	162	149	137	125	113	101	88
VI 神経系の疾患	124	123	119	116	108	96	86
VII 眼及び付属器の疾患	5	5	4	4	3	3	3
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	1	1	1	1	1	1
IX 循環器系の疾患	132	133	130	128	121	107	95
X 呼吸器系の疾患	61	62	61	63	60	53	47
X I 消化器系の疾患	35	34	33	31	29	26	23
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	10	10	9	9	8	7
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	53	53	51	49	46	41	36
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	41	41	40	39	36	32	29
X V 妊娠、分娩及び産じょく	4	3	2	2	2	2	1
X VI 周産期に発生した病態	2	2	1	1	1	1	1
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1	1	1	1	1	1	0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12	13	12	12	12	10	9
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	97	97	95	94	89	79	69
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2	2	2	1	1	1	1
X X II 特殊目的用コード	10	10	10	10	10	9	8
総数	870	856	821	794	739	657	583

出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）および「令和5年患者調査」（厚生労働省）を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

○ 山口県の一般病床・療養病床を有する医療機関数及び病床機能別病床数

	医療機関数		病床数					
	病院数	有床 診療所	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休 棟	合 計
岩国	14	6	266	406	256	651	9	1,588
柳井	6	5	0	291	199	671	39	1,200
周南	20	8	463	754	789	1,027	23	3,056
山口・防府	20	13	499	1,163	719	838	66	3,285
宇部・小野田	21	8	378	1,694	657	1,219	54	4,002
下関	19	23	254	1,252	934	1,310	332	4,082
長門	3	3	0	321	40	135	2	498
萩	6	3	0	234	57	428	58	777
合計	109	69	1,860	6,115	3,651	6,279	583	18,488

○ 人口10万人対の数値

	医療機関数		病床数						人口
	病院数	有床診療所	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休 棟	合 計	
岩国	11	5	212	324	204	520	7	1,268	125,245
柳井	9	7	0	433	296	999	58	1,786	67,175
周南	9	3	200	326	341	444	10	1,322	231,121
山口・防府	7	4	167	390	241	281	22	1,102	298,051
宇部・小野田	9	3	164	733	284	528	23	1,732	231,000
下関	8	10	107	528	394	552	140	1,720	237,259
長門	10	10	0	1,107	138	466	7	1,717	28,999
萩	14	7	0	552	135	1,010	137	1,834	42,376
山口県	9	5	147	485	289	498	46	1,466	1261,226

	高度急性期 + 急性期
岩国	537
柳井	433
周南	527
山口・防府	558
宇部・小野田	897
下関	635
長門	1,107
萩	552
山口県	632

医療従事者の確保状況

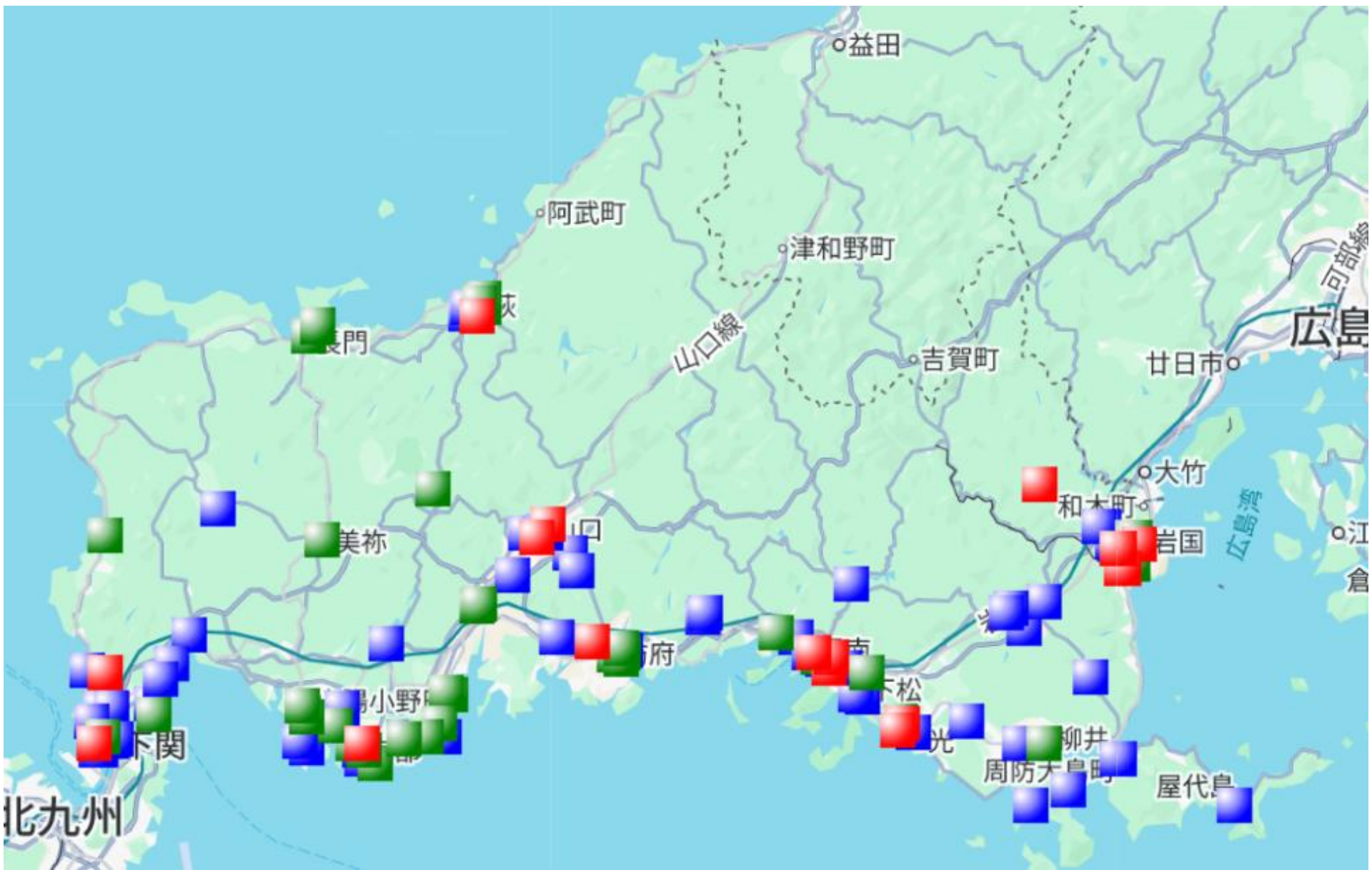
	医師数	看護師数	薬剤師数	PT・OT・ST数
岩国	355.8	1291.2	62.5	190.6
柳井	180.5	797.7	38.3	85
周南	609.9	2370.8	101.1	468.9
山口・防府	968	2995.6	128.3	498.3
宇部・小野田	1130.5	3257.2	184.6	482.3
下関	811.3	2792	132.5	679.5
長門	79.9	317.4	24.4	55.5
萩	122.1	386.5	17.5	79.5
山口県	4258	14208.4	689.2	2539.6

出典元：「令和5(2023)年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）

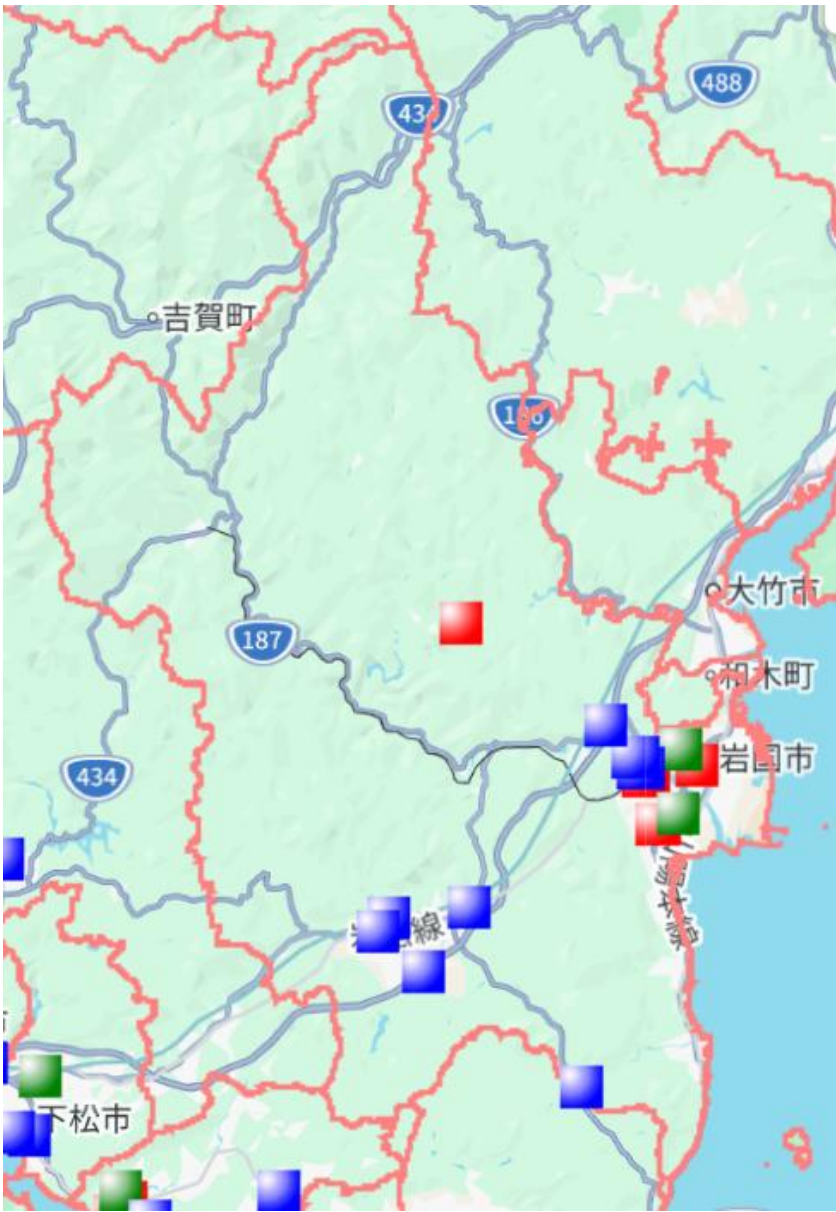
○ 人口10万人対の数値

	医師数	看護師数	薬剤師数	PT・OT・ST数	人口
岩国	284.1	1,030.9	49.9	152.2	125,245
柳井	268.7	1,187.5	57.0	126.5	67,175
周南	263.9	1,025.8	43.7	202.9	231,121
山口・防府	324.8	1,005.1	43.0	167.2	298,051
宇部・小野田	489.4	1,410.0	79.9	208.8	231,000
下関	341.9	1,176.8	55.8	286.4	237,259
長門	275.5	1,094.5	84.1	191.4	28,999
萩	288.1	912.1	41.3	187.6	42,376
山口県	337.6	1,126.6	54.6	201.4	1,261,226

出典元：「令和5(2023)年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）、山口県市町年齢別推計人口（令和7年10月1日現在）



岩国圏域の医療機関（病院）へのアクセス



-  高度急性期又は急性期のみ
-  混合
-  回復期又は慢性期のみ



■ 高度急性期又は急性期のみ

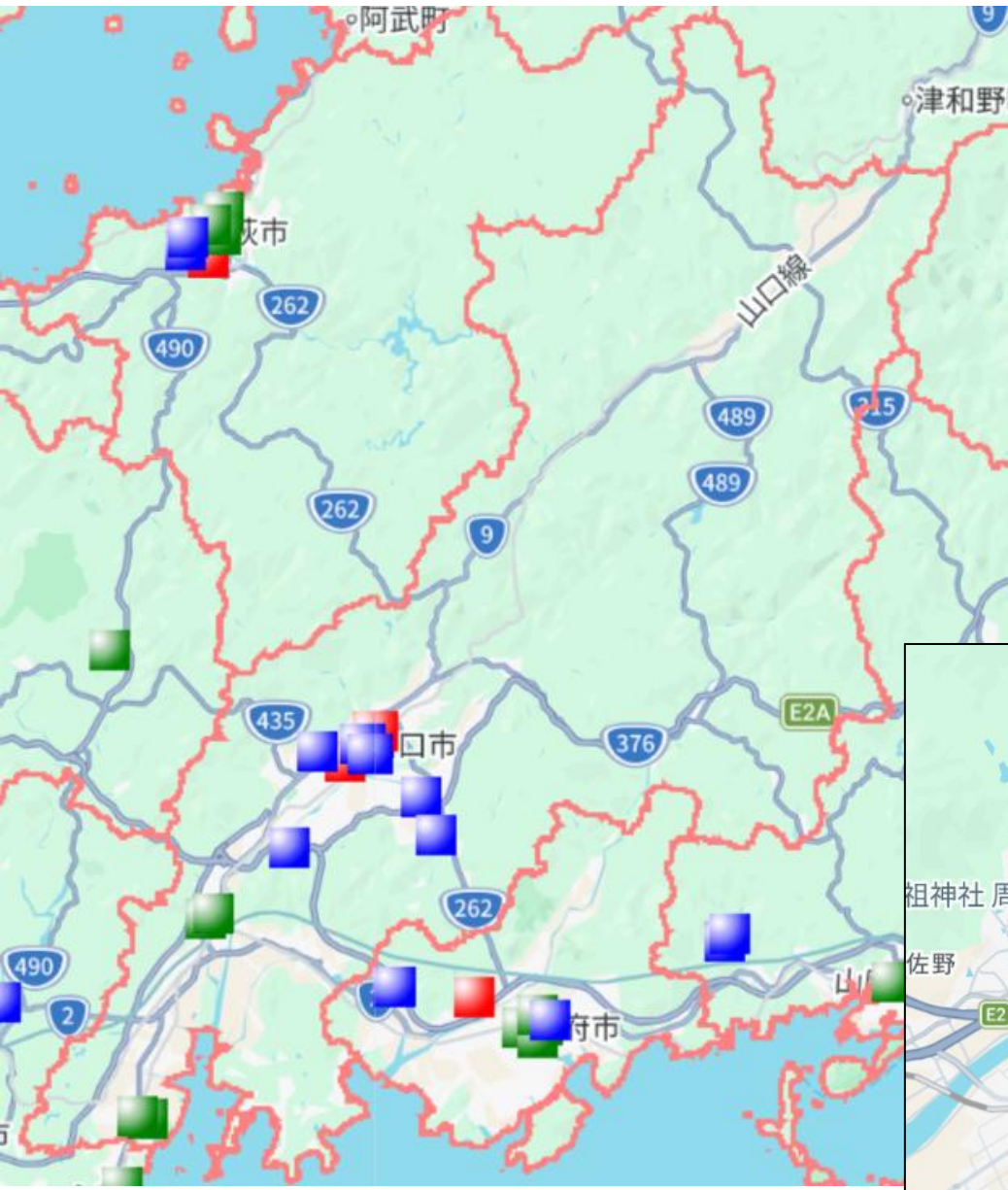
■ 混合

■ 回復期又は慢性期のみ

周南圏域の医療機関（病院）へのアクセス



山口・防府圏域の医療機関（病院）へのアクセス



高度急性期又は急性期のみ 混合 回復期又は慢性期のみ

宇部・小野田圏域の医療機関（病院）へのアクセス



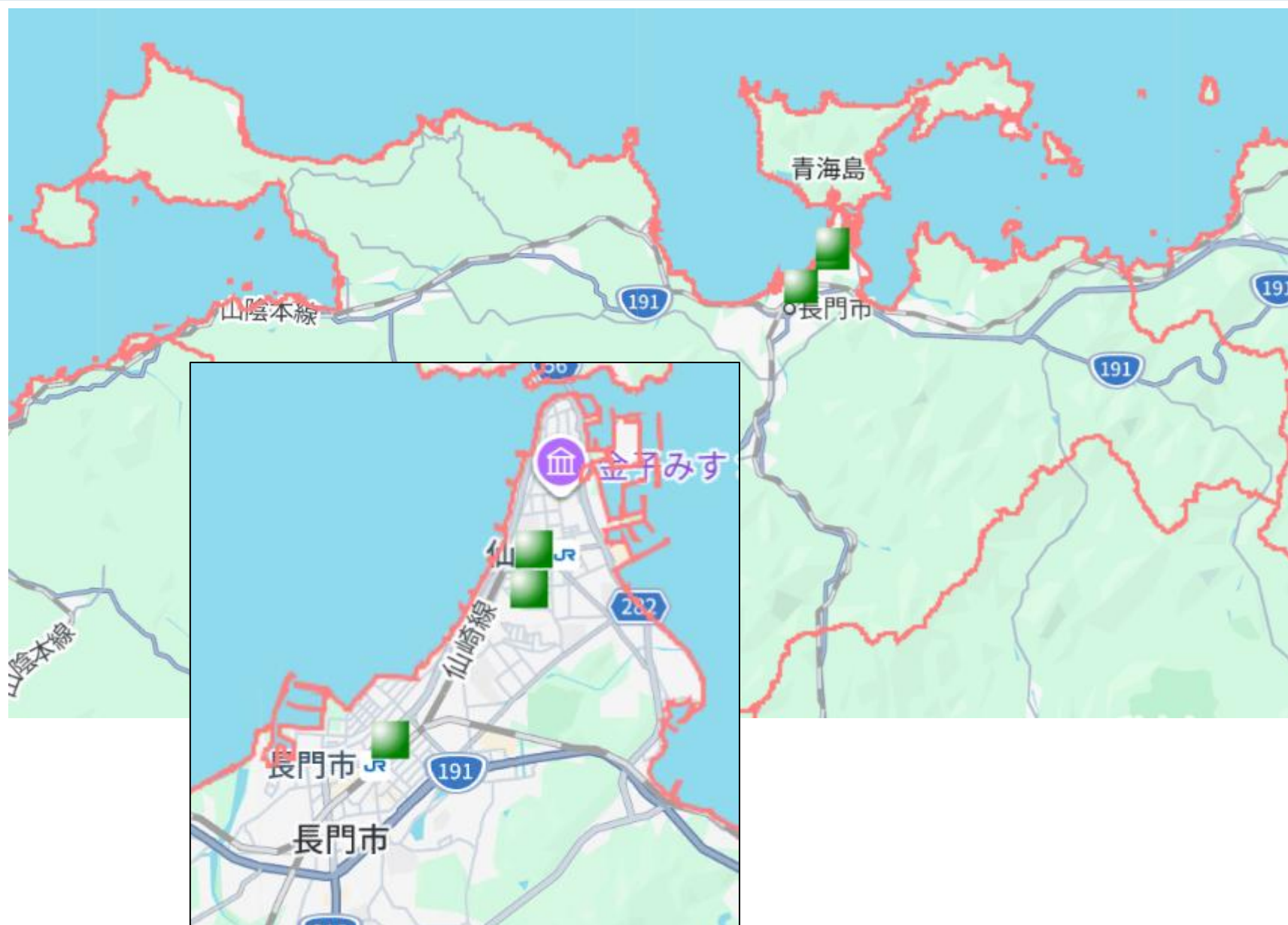
■ 高度急性期又は急性期のみ ■ 混合 ■ 回復期又は慢性期のみ

下関圏域の医療機関（病院）へのアクセス

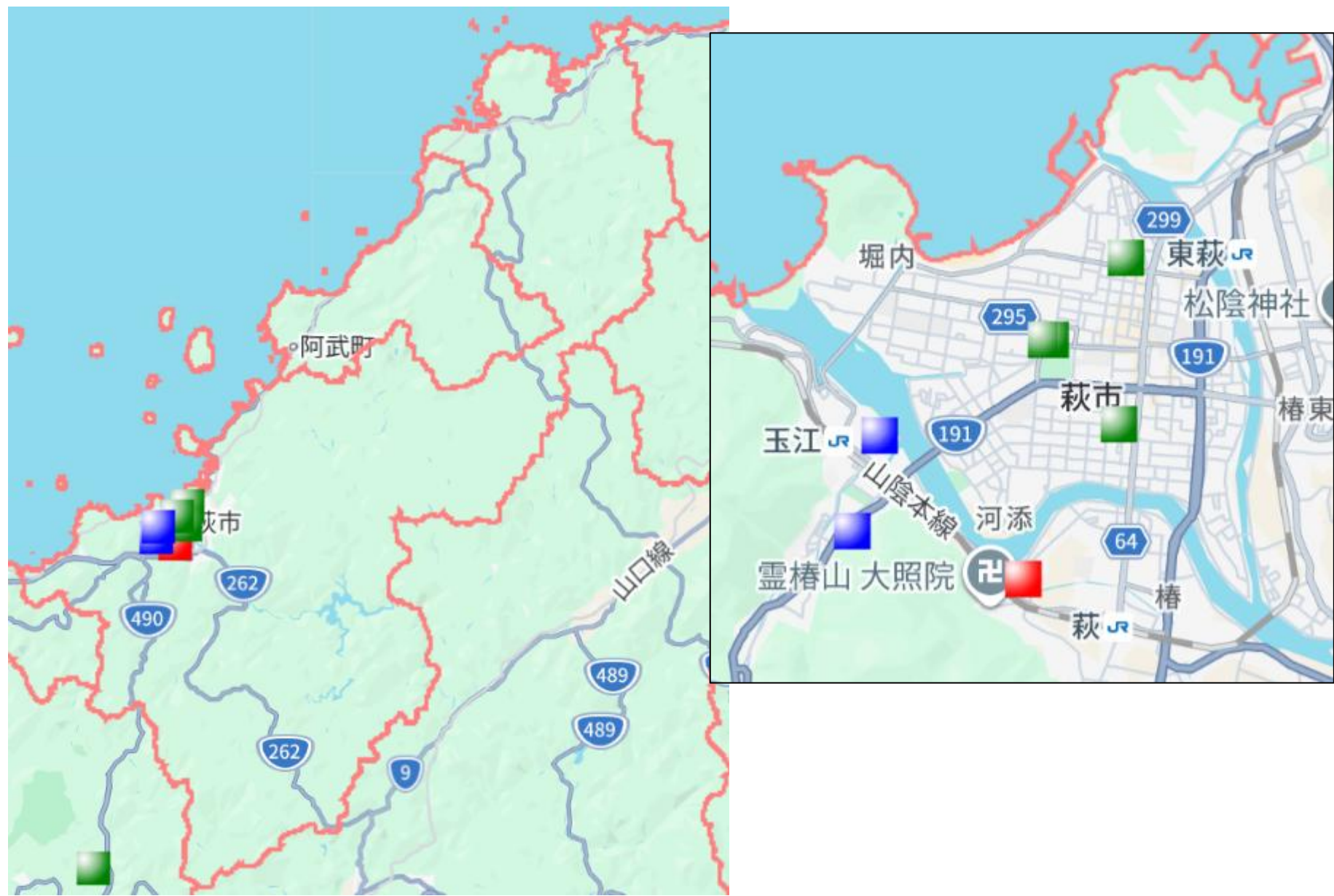


高度急性期又は急性期のみ 混合 回復期又は慢性期のみ

■ 高度急性期又は急性期のみ ■ 混合 ■ 回復期又は慢性期のみ



萩圏域の医療機関（病院）へのアクセス



高度急性期又は急性期のみ 混合 回復期又は慢性期のみ

岩国圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数 (年間)	医療従事者数					建築時期 (最も古い 施設)
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 (右記以外 職種含む)	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	看護師 (常勤)	看護師 (非常勤)	
岩国医療センター	2703	341	5102	544.8	118	0.7	421	5.1	2013
岩国市医療センター医師会病院	325	5	369	104.5	9	3.3	89	3.2	1993
医療法人錦病院	53	1	93	25.9	4	1.1	18	1.8	1982
医療法人光風会 岩国中央病院	15	0	12	16	1	2	13	0	1977
岩国第一病院	0	0	0	12.3	1	1	6	3	1994
医療法人全生会 周防病院	0	0	0	37.5	3	1.5	33	0	1997
医療法人新生会 いしい記念病院	0	0	0	20.5	5	2.1	10	3.4	2000
医療法人玖玉会 玖珂中央病院	0	0	0	49.8	4	2.3	40	1.5	1982
岩国市立美和病院	0	4	334	21.2	5	0.2	16	0	2025
山口平成病院	0	0	11	40.1	3	1.8	28	7.3	—
医療法人清志会 藤政病院	0	3	261	12	3	0.4	7	0.6	1989
医療法人岩国病院	0	1	25	16.7	3	0.4	11	1.3	—
岩国みなみ病院	0	0	87	16.6	1	1.2	13	0.8	1994
特定医療法人南和会 みどり病院	0	0	0	27.3	3	1.6	19	3.7	1988

柳井圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数 (年間)	医療従事者数					建築時期 (最も古い 施設)
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 (右記以外 職種含む)	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	看護師 (常勤)	看護師 (非常勤)	
周東総合病院	1325	100	2590	211.5	43	6.8	155	5.5	2006
柳井医療センター	14	0	120	154.9	14	2.9	135	3	2013
周防大島町立東和病院	1	0	118	35.7	5	3.7	27	0	2013
医療法人松栄会 坂本病院	0	0	0	23.7	2	1.2	14	4.5	1999
周防大島町立大島病院	0	3	419	68.4	5	5.4	54	4	2010
医療法人光輝会 光輝病院	0	0	0	42.9	2	5.9	33	0.6	1981

周南圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数（年 間）	医療従事者数					建築時期 （最も古い 施設）
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 （右記以外 職種含む）	医師（常 勤）	医師（非常 勤）	看護師（常 勤）	看護師（非 常勤）	
徳山中央病院	3367	343	5843	587.9	110	29.8	430	12.5	1976
周南記念病院	675	44	2356	124.6	19	8.1	94	3.5	2000
光市立光総合病院	442	25	1250	145.8	18	3.4	123	1.4	2019
周南市立新南陽市民病院	124	7	1030	98.6	12	4.7	77	4.9	2000
徳山医師会病院	106	0	244	135.7	12	5.4	115	1.3	2000
下松中央病院	74	0	126	68.9	8	0.9	57	0	1964
黒川病院	24	0	0	26.2	3	0.2	22	0	2012
医療法人至誠会 梅田病院	2	57	7	12.4	6	0.4	6	0	2015
下松病院	0	0	1	20.1	2	1.7	12	2.4	1997
光市立大和総合病院	0	0	17	110.7	5	4.9	89	10.4	1975
医療法人陽光会 光中央病院	0	0	175	48.2	4	5.2	39	0	1965
医療法人三生会 みちがみ病院	0	57	0	11.2	3	1.2	7	0	2006
周南高原病院	0	0	8	40.4	5	2.2	32	1.2	2000
徳山リハビリテーション病院	0	0	0	81	6	10	57	8	2012
徳山病院	0	0	167	62	3	12	38	7	2020
医療法人仁徳会 周南病院	0	0	26	25	4	1.4	17	2.6	2024
周南リハビリテーション病院	0	0	0	107.5	7	3.5	91	6	1999
医療法人治徳会 湯野温泉病院	0	0	0	37.2	4	0.3	30	0.2	—
鼓ヶ浦こども医療福祉センター	0	0	0	61.9	8	1	48	1.2	1994
医療法人社団諍友会 田中病院	0	40	4	5.5	2	0.5	3	0	—

山口・防府圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数（年 間）	医療従事者数					建築時期 （最も古い 施設）
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 （右記以外 職種含む）	医師（常 勤）	医師（非常 勤）	看護師（常 勤）	看護師（非 常勤）	
山口県立総合医療センター	3210	390	3084	498.7	141	0.5	355	1.2	1983
総合病院山口赤十字病院	1973	185	2550	323.4	76	7.4	233	4	1999
済生会山口総合病院	1930	163	2611	282	58	2	222	0	—
小郡第一総合病院	859	70	948	134.7	29	1.7	104	0	—
防府胃腸病院	279	12	402	54	5	5.7	40	3.3	—
医療法人米沢記念 桑陽病院	209	2	418	58.1	9	1.1	48	0	1999
医療法人社団松友会 松本外科病院	164	37	750	40	3	3.9	26	5.1	—
阿知須共立病院	139	8	465	71.2	9	6.6	53	2.6	2015
医療法人神徳会 三田尻病院	90	10	644	71.5	12	7.7	46	4.7	1990
医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院	70	0	233	34.3	4	4.7	24	1.6	—
医療法人社団水生会 柴田病院	0	0	266	32.4	5	2.2	23	2.2	1978
林病院	0	0	181	24	4	2	18	0	1994
済生会湯田温泉病院	0	0	23	49.9	6	1.3	40	2.6	—
山口リハビリテーション病院	0	0	0	66.6	4	5.2	54	3.1	1986
医療法人丘病院（おか整形外科病院）	0	0	13	9.9	1	0	8	0.9	1977
医療法人樹一会 山口病院	0	0	16	25.2	4	9	7	3.2	1998
山口若宮病院	0	0	0	29.5	1	3	24	0.5	1986
緑町三祐病院	0	1	274	29.5	4	2	18	4.5	2001
防府リハビリテーション病院	0	0	0	52.9	3	3.4	45	1.3	1989
医療法人博愛会 山口博愛病院	0	0	65	42.9	3	3.1	36	0.8	1993

宇部・小野田圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数（年 間）	医療従事者数					建築時期 （最も古い 施設）
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 （右記以外 職種含む）	医師（常 勤）	医師（非常 勤）	看護師（常 勤）	看護師（非 常勤）	
山口大学医学部附属病院（参考）	6517	352	1579	1058.8	257	140.8	641	1.6	—
山口労災病院	1404	120	2401	259.1	49	2.2	206	0.9	1995
宇部興産中央病院	1129	133	2398	251.6	50	1.6	199	0	1974
山陽小野田市民病院	584	148	915	122	25	6.1	86	3.5	2014
医療法人聖比留会 セントヒル病院	281	14	456	102.5	18	2.5	78	0	1980
山口宇部医療センター	188	0	294	248.4	27	0.8	219	1.6	1998
美祢市立病院	87	3	467	65.2	8	5.6	50	1.6	1990
社会医療法人尾中病院	18	4	305	50.2	6	4.1	35	2.1	2020
宇部協立病院	14	8	648	85.2	11	4	65	5.2	—
医療法人博愛会 宇部記念病院	7	0	113	63.2	7	4.4	48	2.8	1984
医療法人社団清富会 サンポプラ病院	0	0	3	11	1	2	7	0	2014
医療法人仁心会 宇部仁心会病院	0	0	16	18.9	2	1.9	14	0	2006
医療法人社団泉仁会 宇部第一病院	0	0	12	47	3	12	31	0	1979
宇部リハビリテーション病院	0	0	0	66.8	5	2.6	53	6.2	1979
医療法人聖比留会 厚南セントヒル病院	0	0	100	47	7	0	40	0	1987
医療法人太白会 シーサイド病院	0	0	0	27.2	5	6	15	1.2	1981
宇部西リハビリテーション病院	0	0	14	79.7	10	0.8	67	1.9	2012
美祢市立美東病院	0	2	296	44.6	6	2.8	35	0.8	1999
長沢病院	0	0	7	13.3	3	0	9	0	2001
小野田赤十字病院	0	0	108	24.8	5	1.3	15	0.5	1979
医療法人社団輝斉会 森田病院	0	0	10	10	2	3	3	1	1978

下関圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数 (年間)	医療従事者数				
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 (右記以外 職種含む)	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	看護師 (常勤)	看護師 (非常勤)
山口県済生会下関総合病院	2295	284	4333	379.8	87	7.9	266	17.8
下関市立市民病院	1680	140	3263	277.6	68	0.5	198	8.1
関門医療センター	1387	113	3382	318.2	73	0.8	230	2.4
下関医療センター	923	73	2563	172.4	42	0.5	126	2.9
山口県済生会豊浦病院	310	19	752	134.3	11	11.3	112	0
よしみず病院	0	0	42	172.7	17	9.2	123	22.2
医療法人星の里会 岡病院	0	0	1	10.9	2	0.9	6	0
桃崎病院	0	0	20	13.7	3	2.5	5	1.2
下関リハビリテーション病院	0	0	0	75.8	5	0	70	0.8
下関市立豊田中央病院	0	0	186	37	7	2.2	23	4.8
前田内科病院	0	0	0	20.3	2	1.3	16	0
医療法人社団季朋会 王司病院	0	0	2	45.7	10	2.6	26	5.5
医療法人長府病院	0	0	9	30.2	2	2.6	24	0.6
医療法人社団松涛会 安岡病院	0	0	34	108	13	2.5	75	12.5
医療法人社団青寿会 武久病院	0	0	0	62.3	9	1.3	51	0
医療法人元洋会 森山病院	0	0	0	25	4	1.3	17	2.7
医療法人其桃会 西尾病院	0	0	0	24.7	2	1.6	18	3.1
光風園病院	0	0	1	89.5	8	2.5	70	9
稗田病院	0	0	0	30.6	8	0	22	0.6

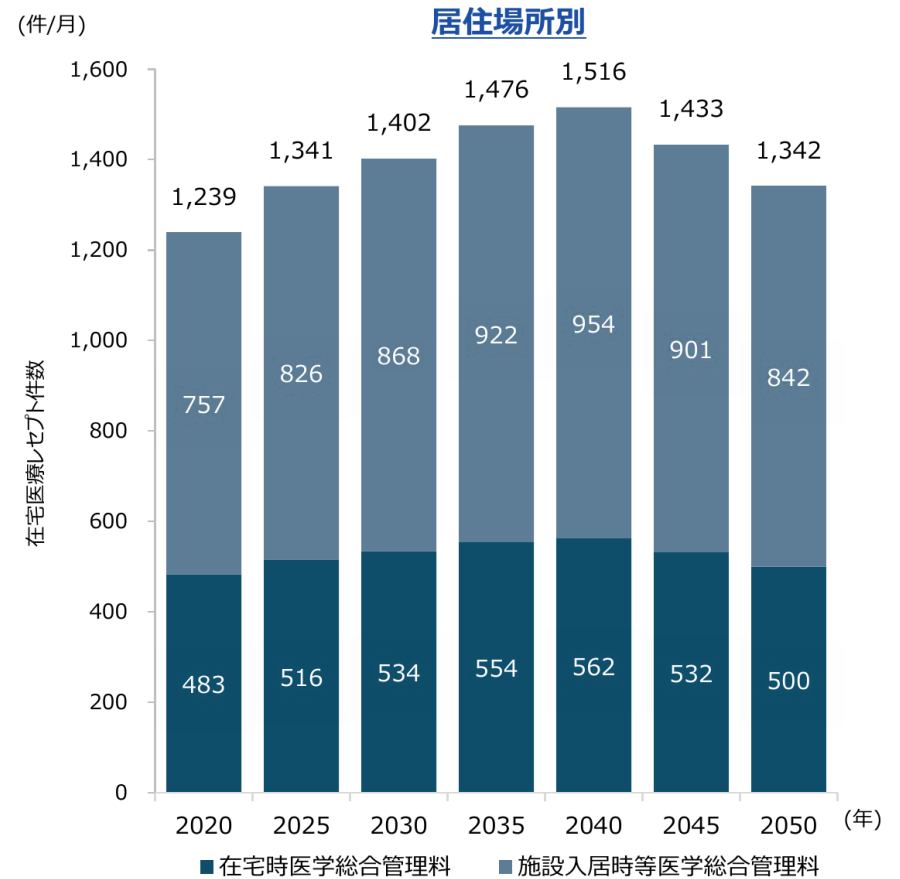
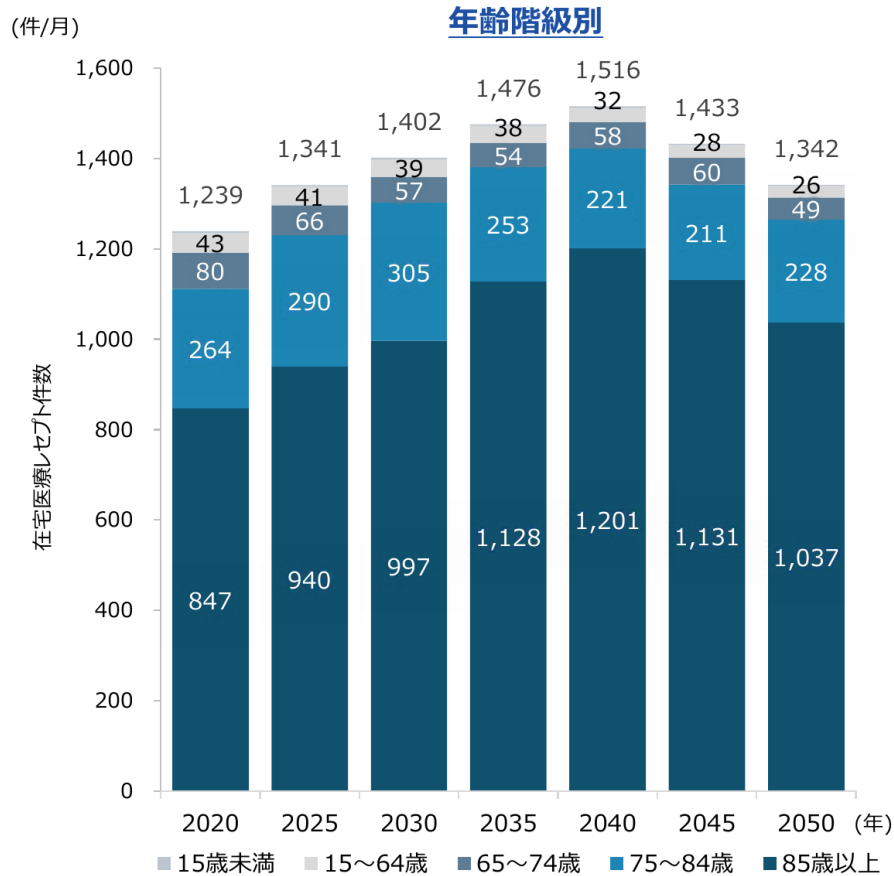
長門圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数（年 間）	医療従事者数					建築時期 （最も古い 施設）
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 （右記以外 職種含む）	医師 （常勤）	医師 （非常勤）	看護師 （常勤）	看護師 （非常勤）	
長門総合病院	897	63	1091	149.5	27	7.3	114	1.2	1984
医療法人生山会 斎木病院	14	4	255	20.7	2	0.4	14	3.3	1967
医療法人社団成蹊会 岡田病院	0	0	464	34.1	5	4.7	15	6.4	1996

萩圏域の状況

医療機関名	手術に関する実績		救急車の受 入件数（年 間）	医療従事者数							建築時期 （最も古い 施設）
	全身麻酔の 手術総数	緊急手術関 連レセプト		合計 （右記以外 職種含む）	医師（常 勤）	医師（非常 勤）	歯科医師 （常勤）	歯科医師 （非常勤）	看護師（常 勤）	看護師（非 常勤）	
萩市民病院	284	25	1268	85	15	3.7	0	0	63	3.3	1999
都志見病院	166	26	1138	63.3	10	4	0	0	48	1.3	1992
医療法人社団慈生会 萩慈生病院	0	0	0	37.8	2	2.6	0	0	31	1	1981
萩むらた病院	0	0	309	18.44	3	2.44	0	0	13	0	2013
全眞会病院	0	0	0	15.4	2	1.9	0	0	9	2.5	2001
玉木病院	0	0	142	39.5	1	4.8	0	0	31	0.7	1989

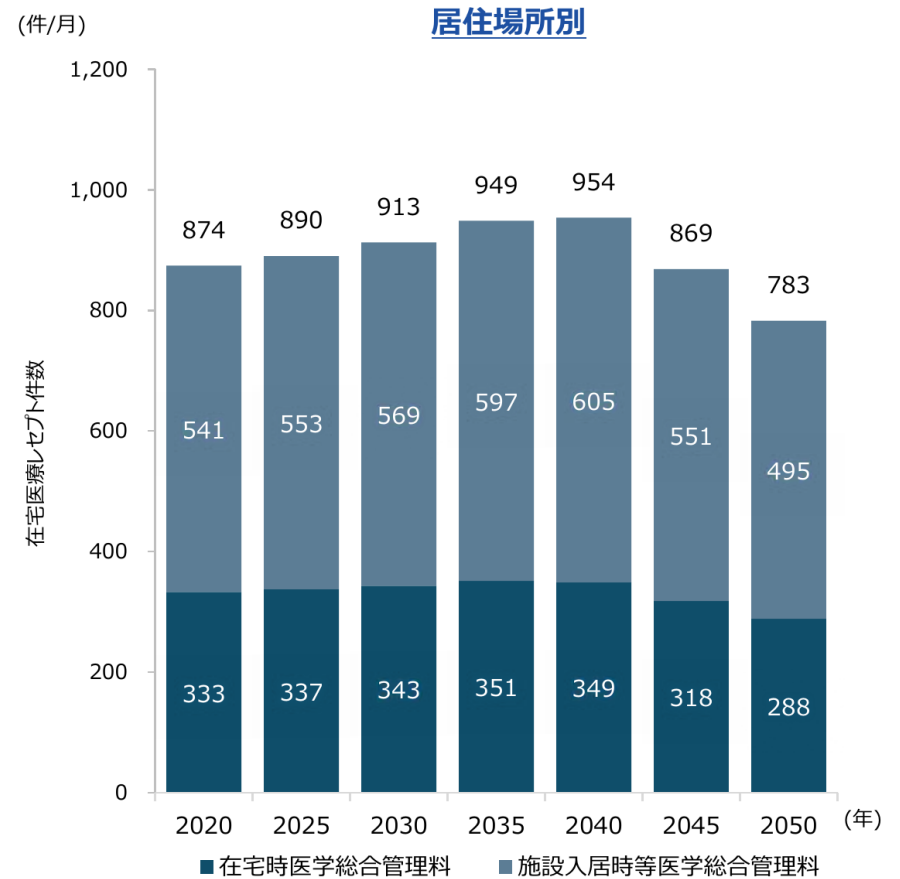
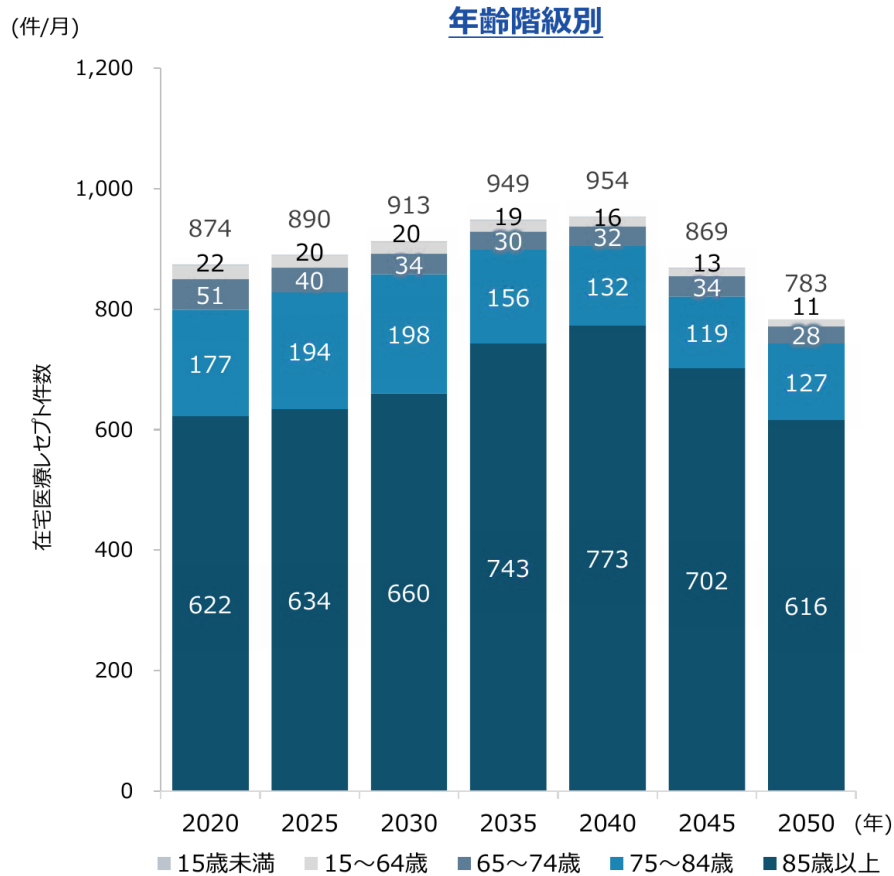
岩国医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

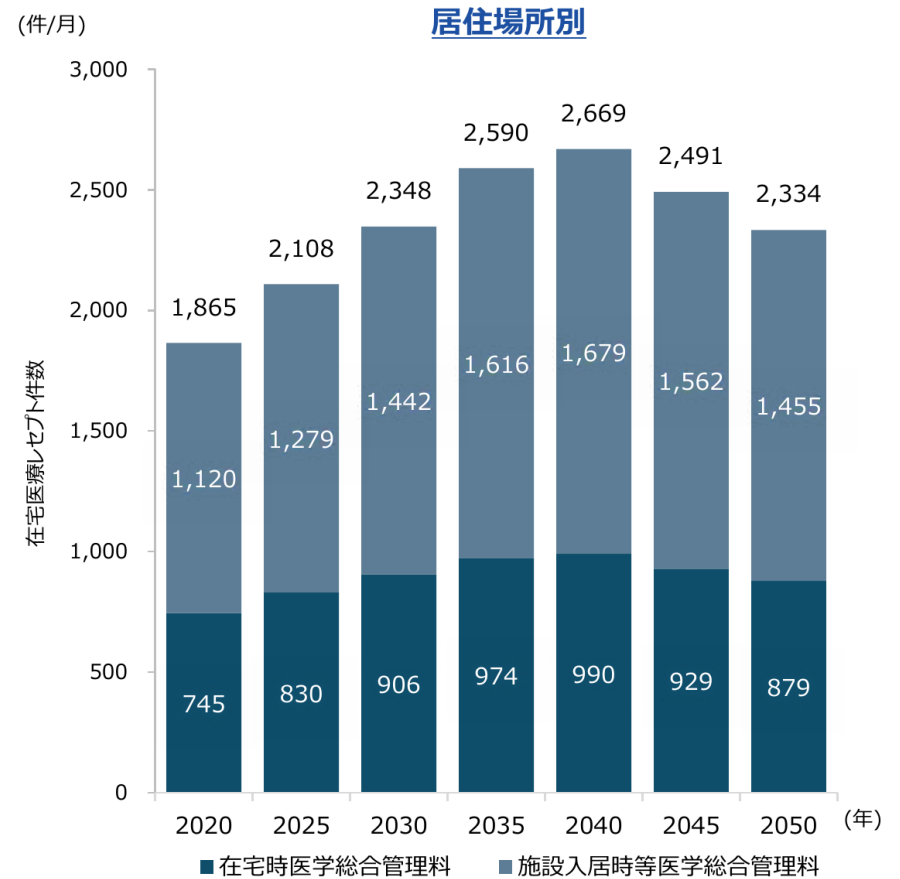
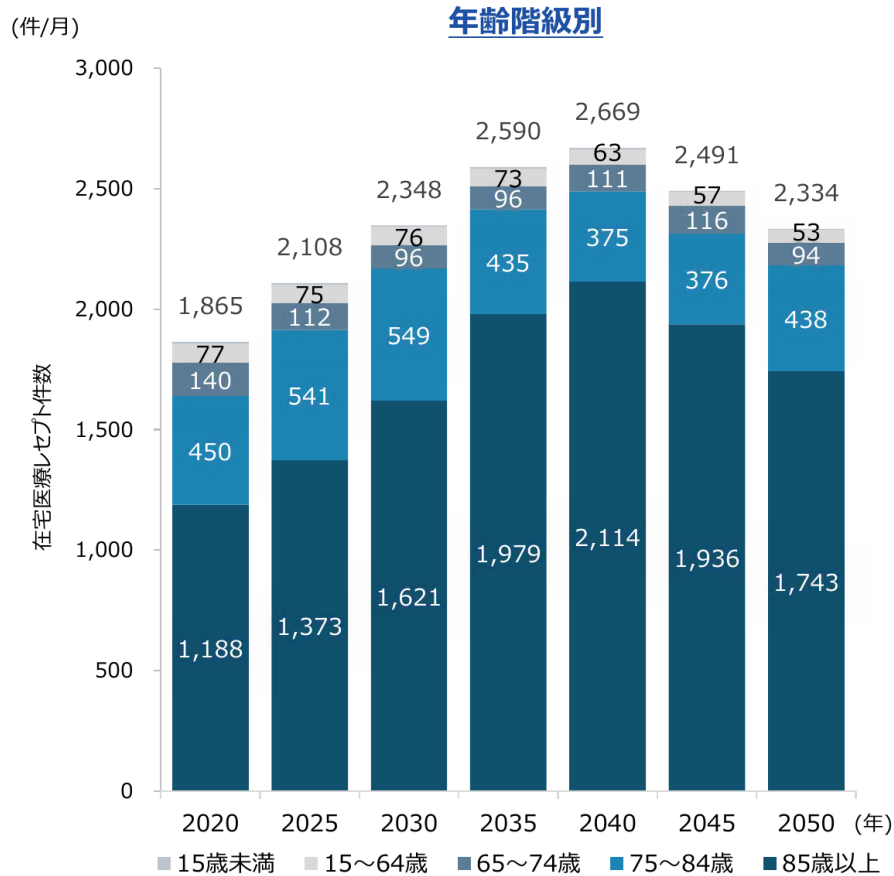
柳井医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

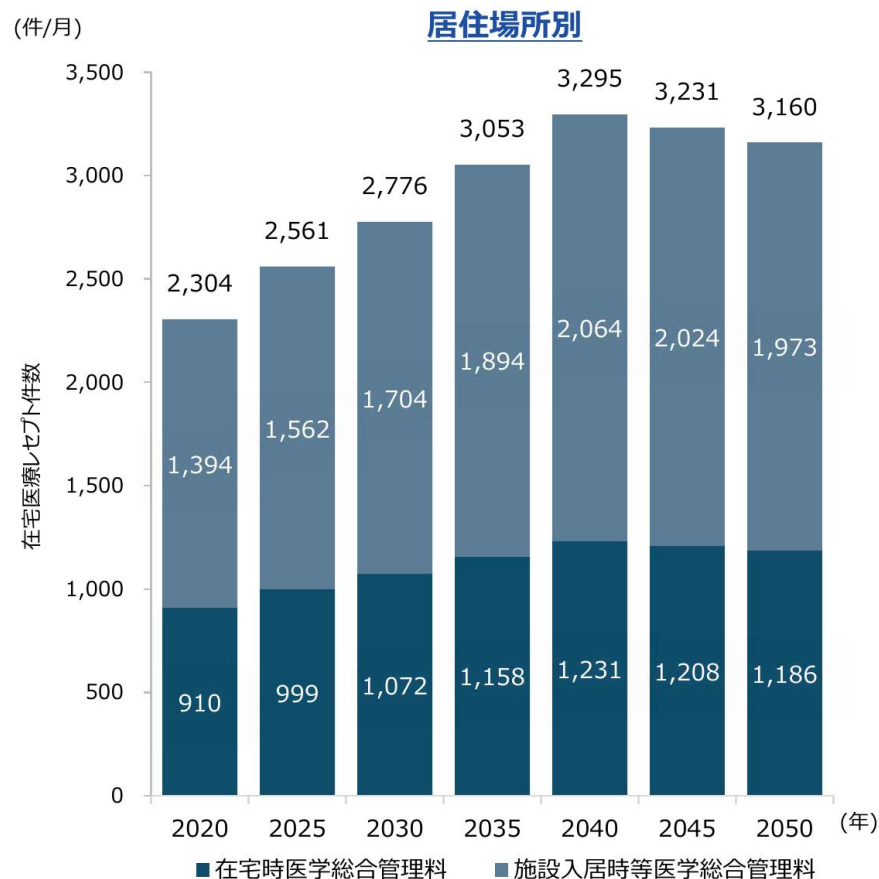
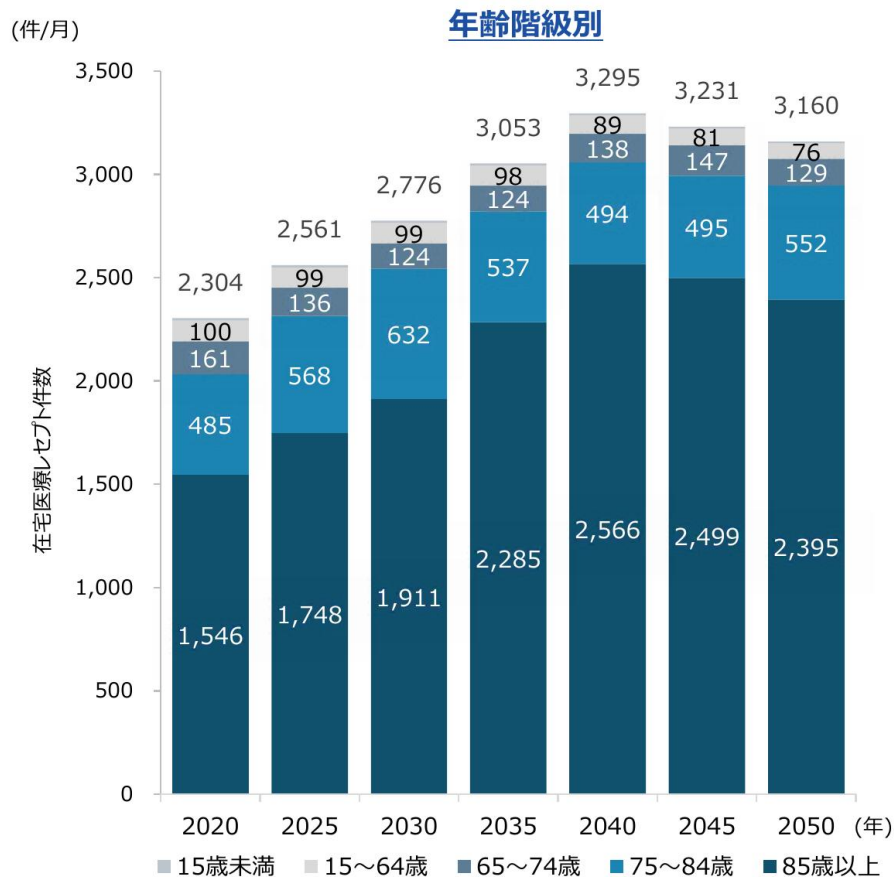
周南医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

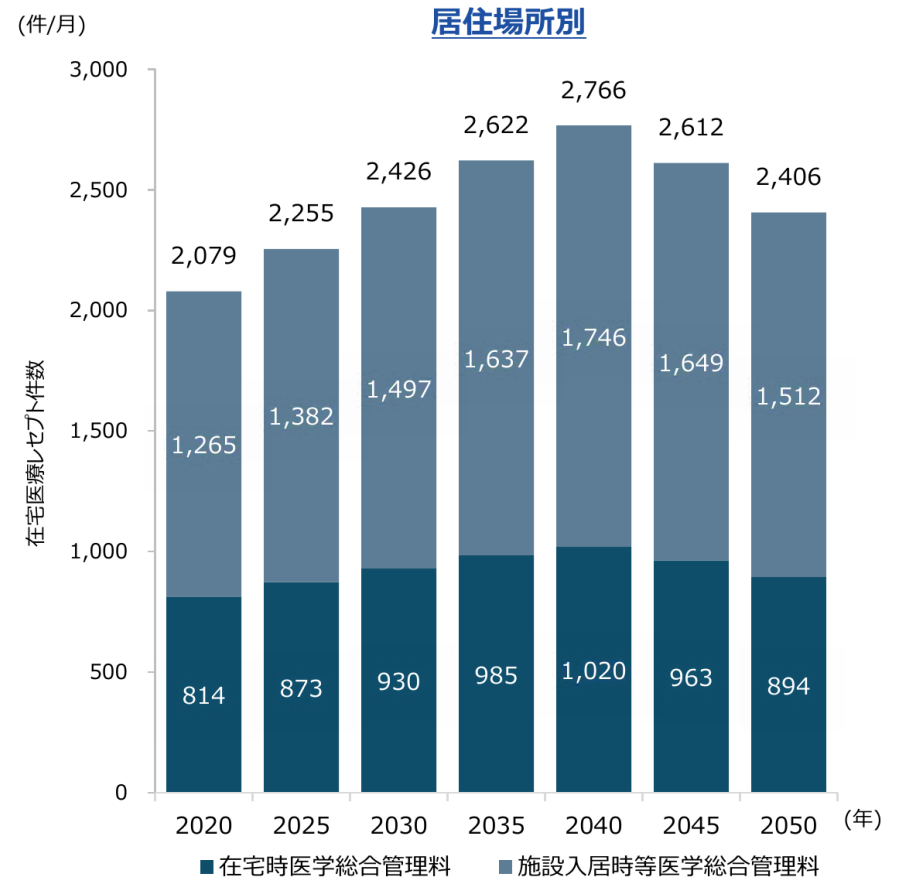
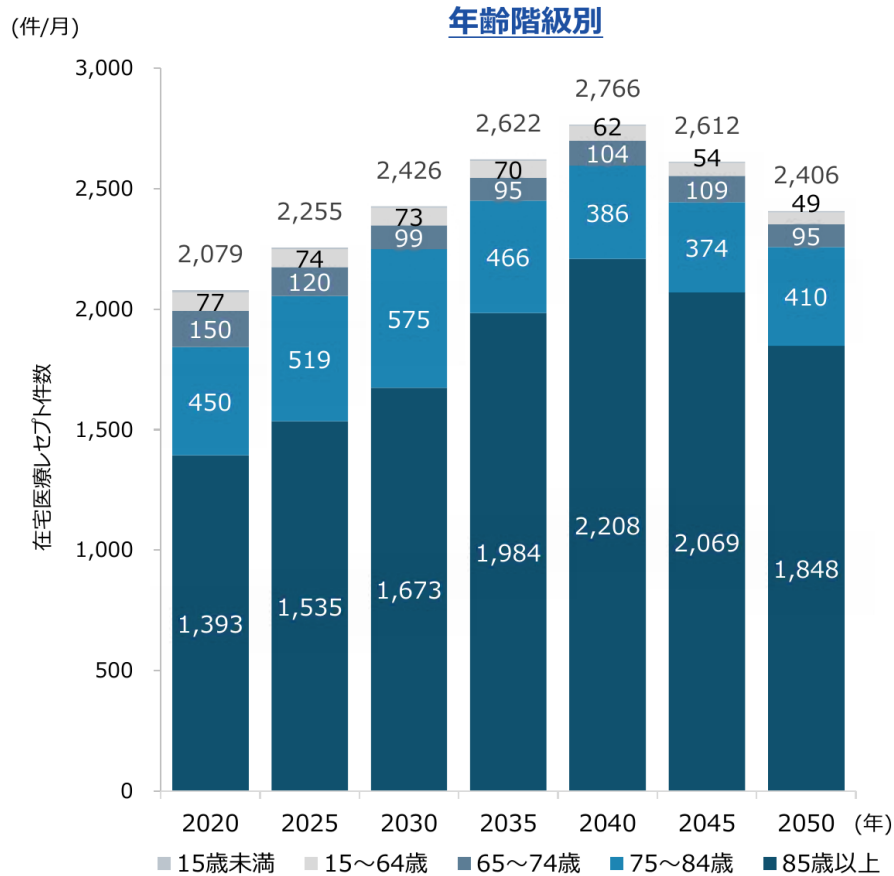
山口・防府医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

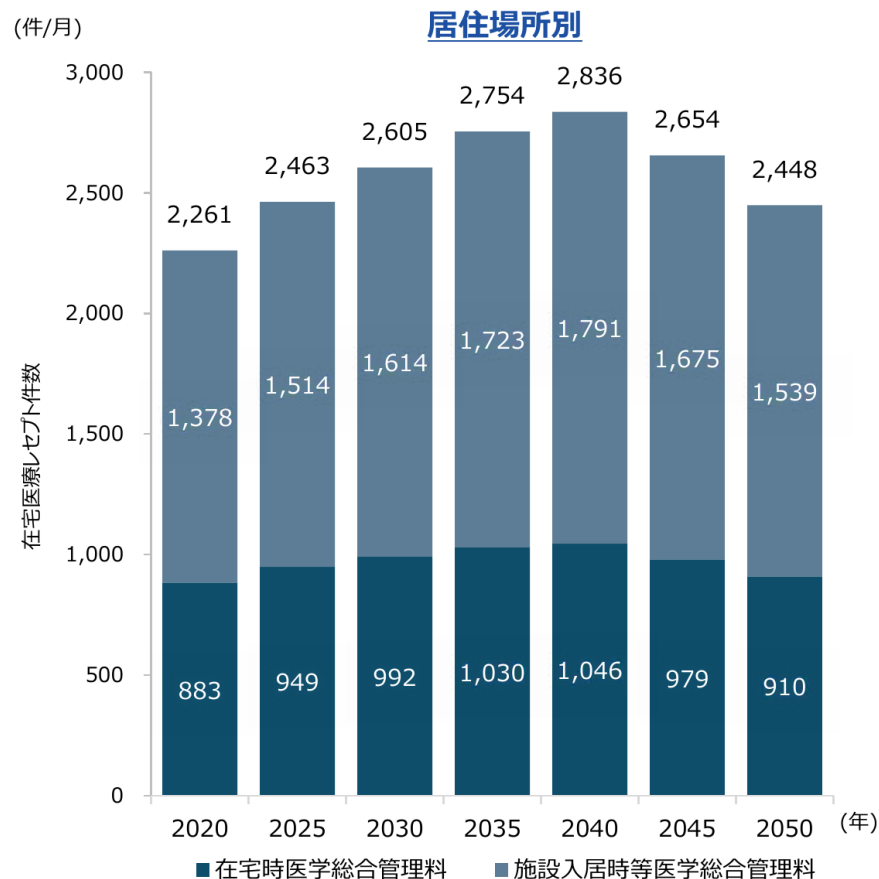
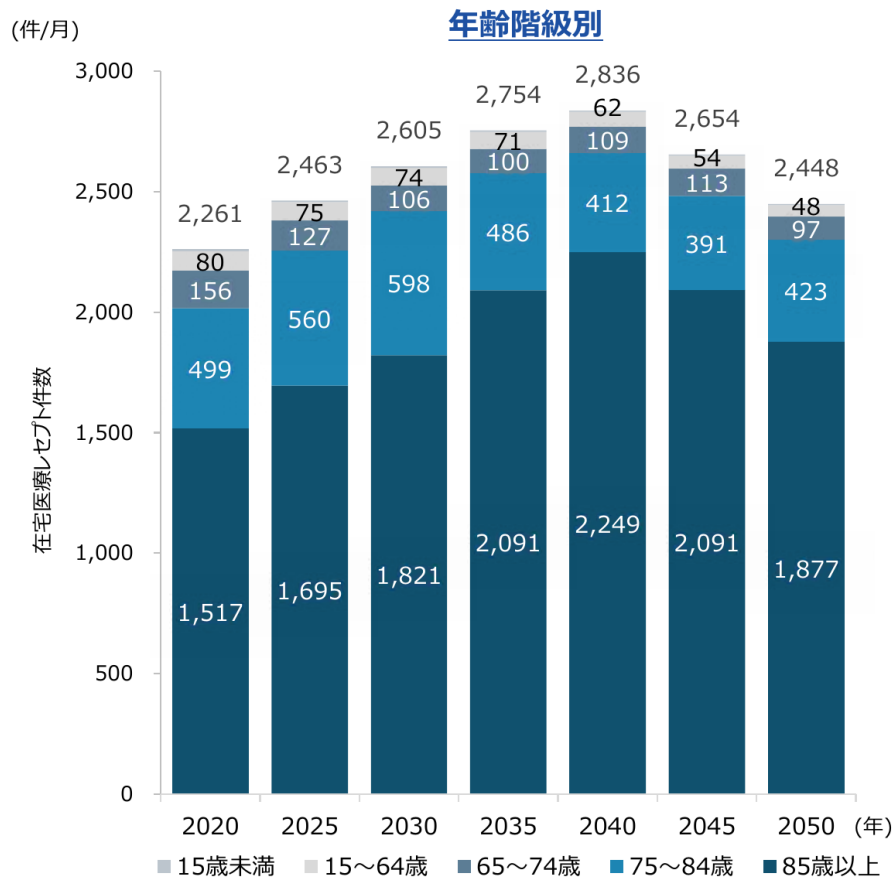
宇部・小野田医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

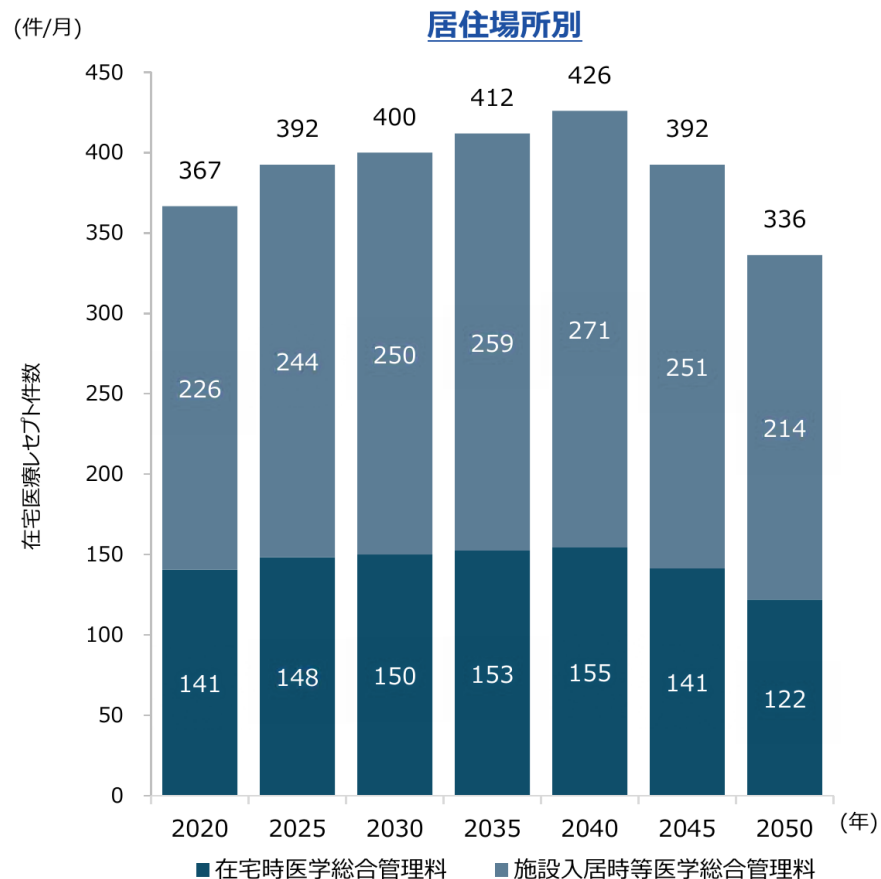
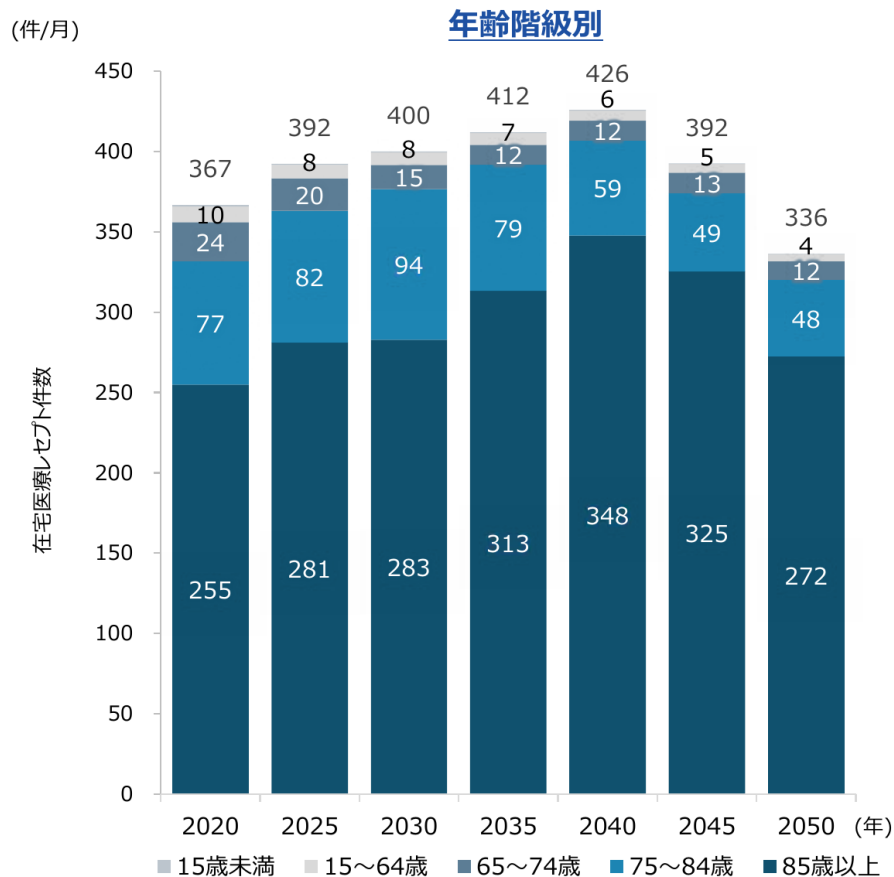
下関医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

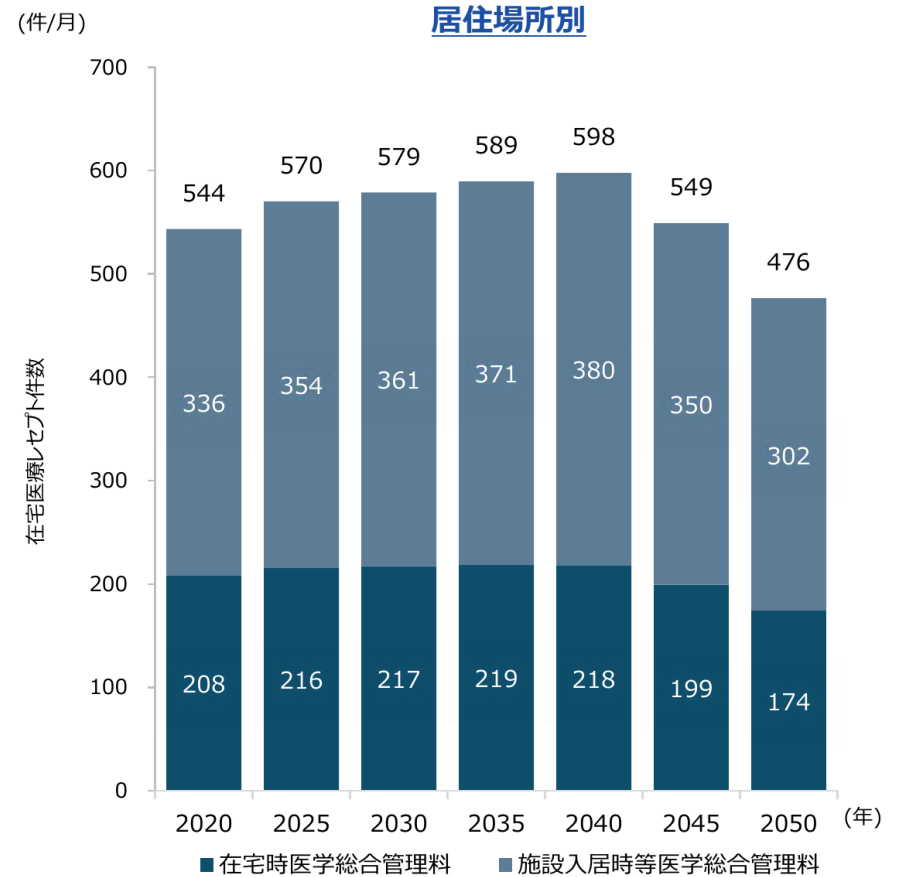
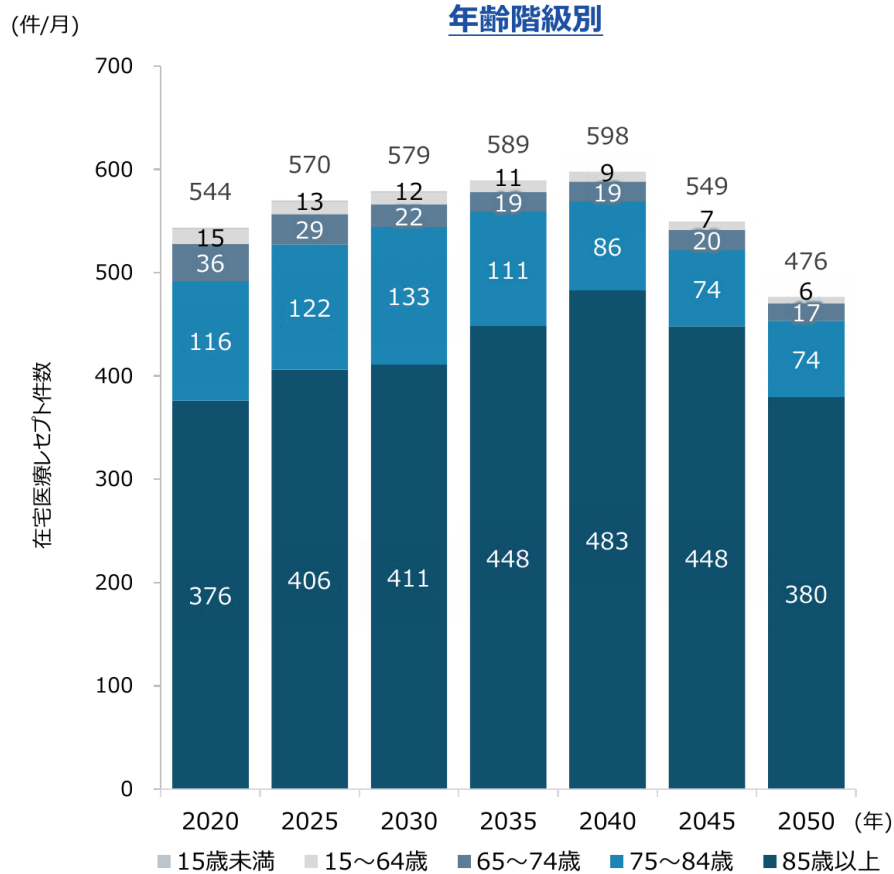
長門医療圏 | 在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

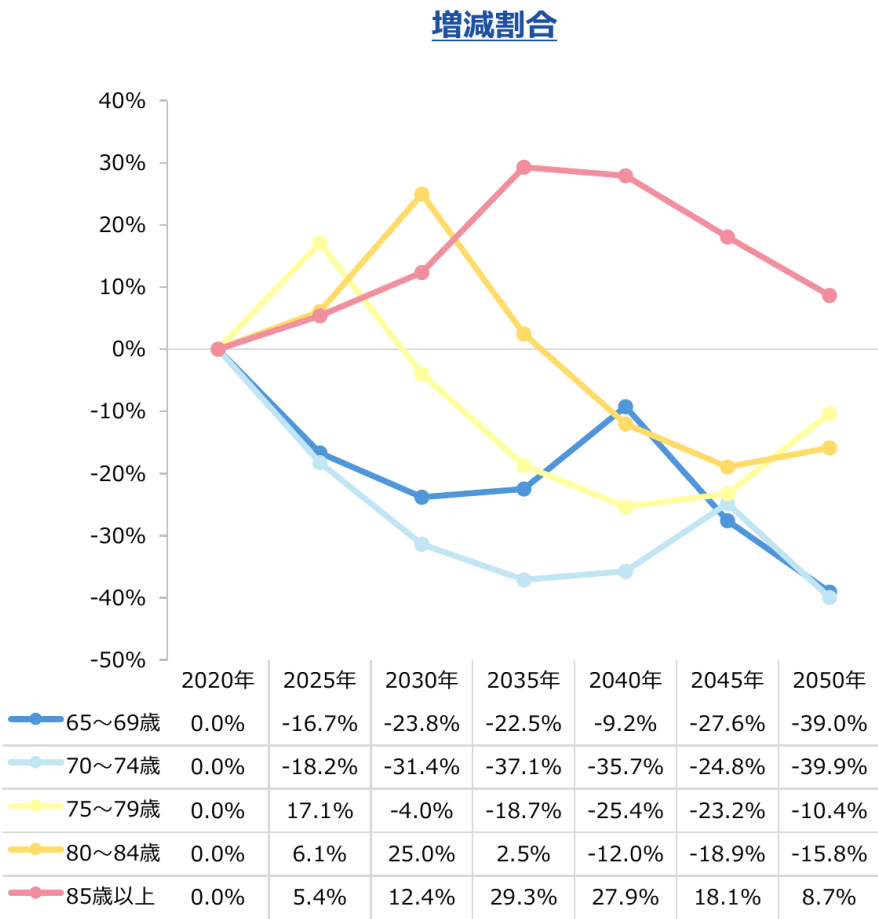
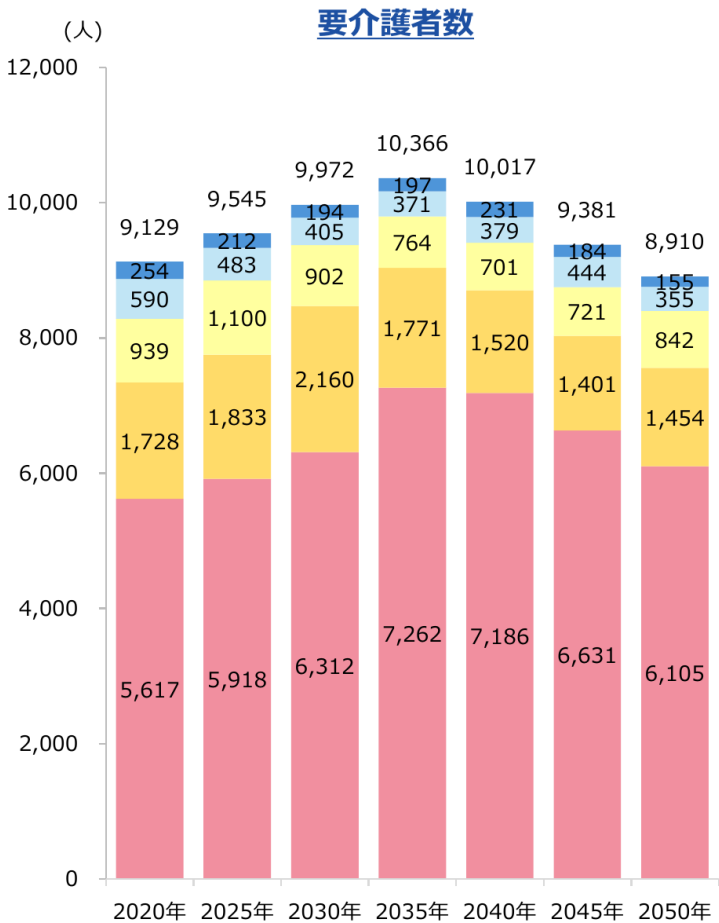
2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.

萩医療圏 | 在宅医療患者数の推計



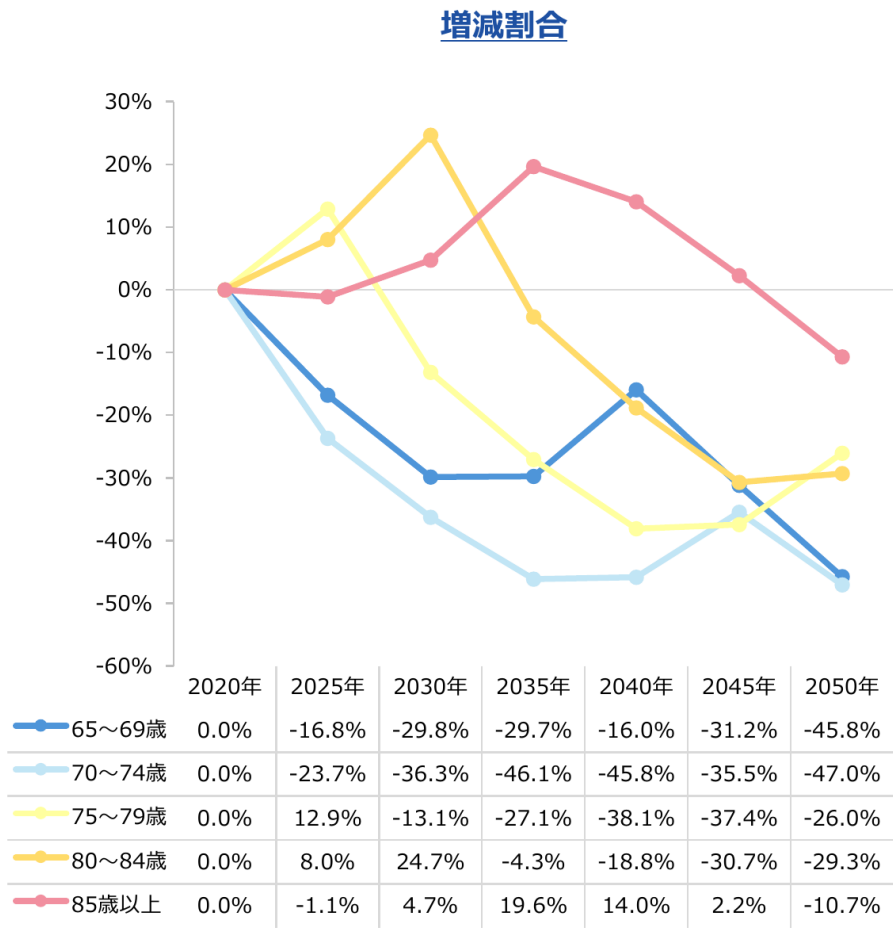
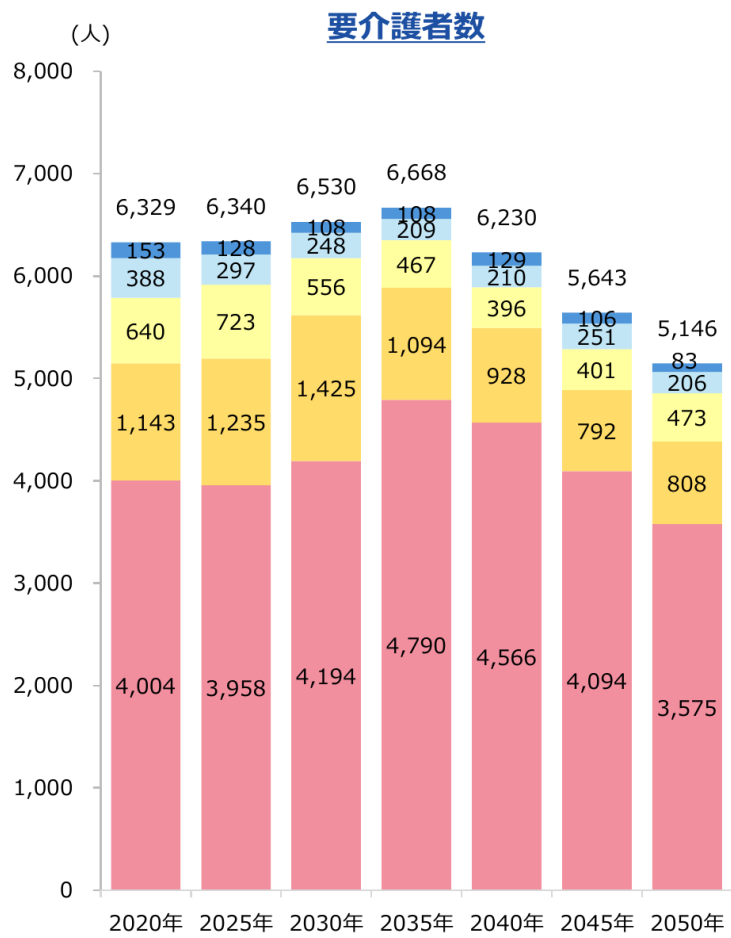
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

2026 ©NIHONKEIEI Co.,Ltd.



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

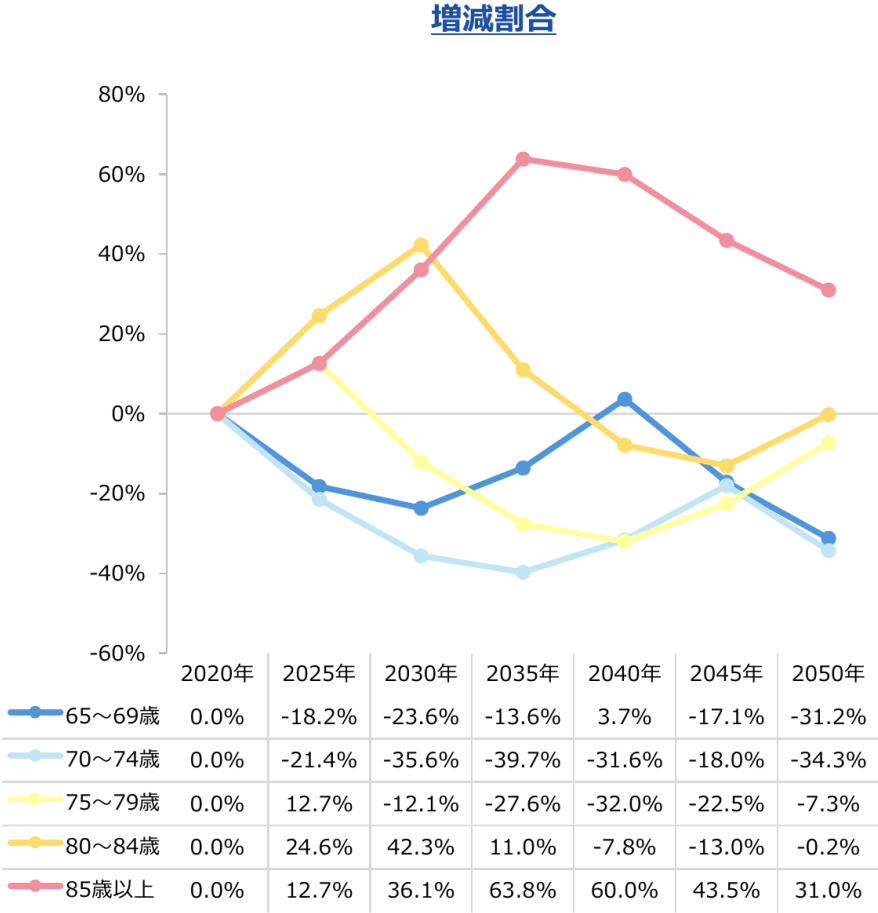
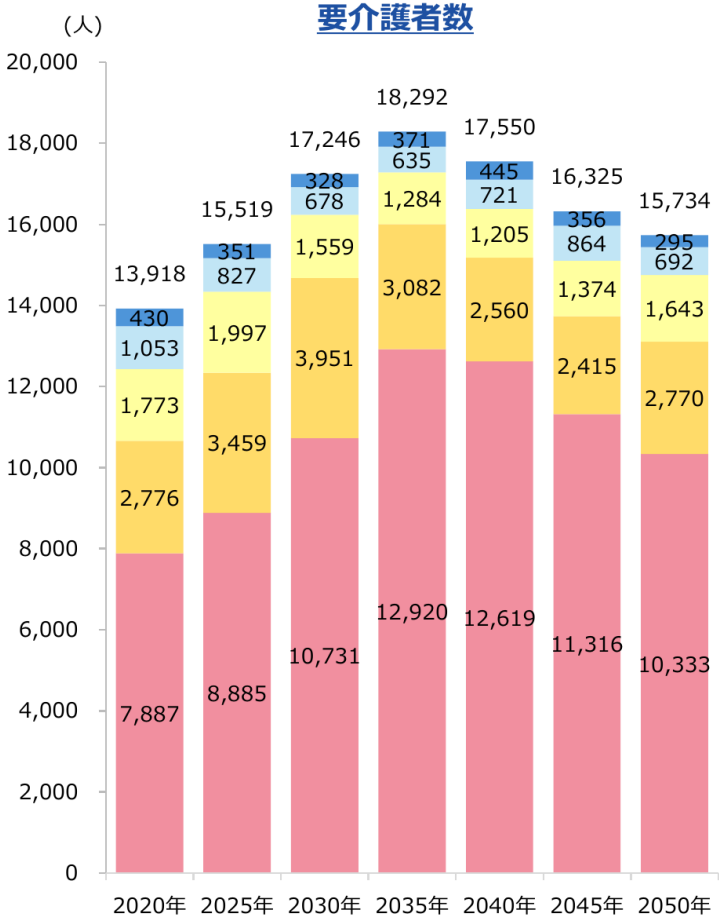
柳井医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

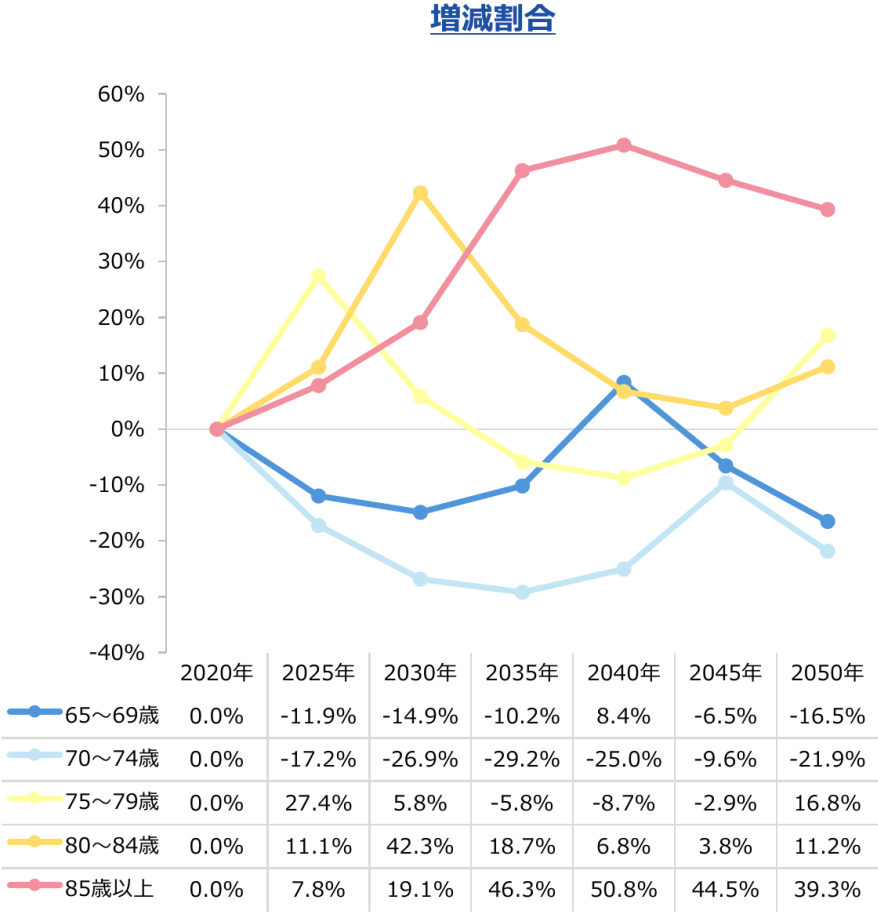
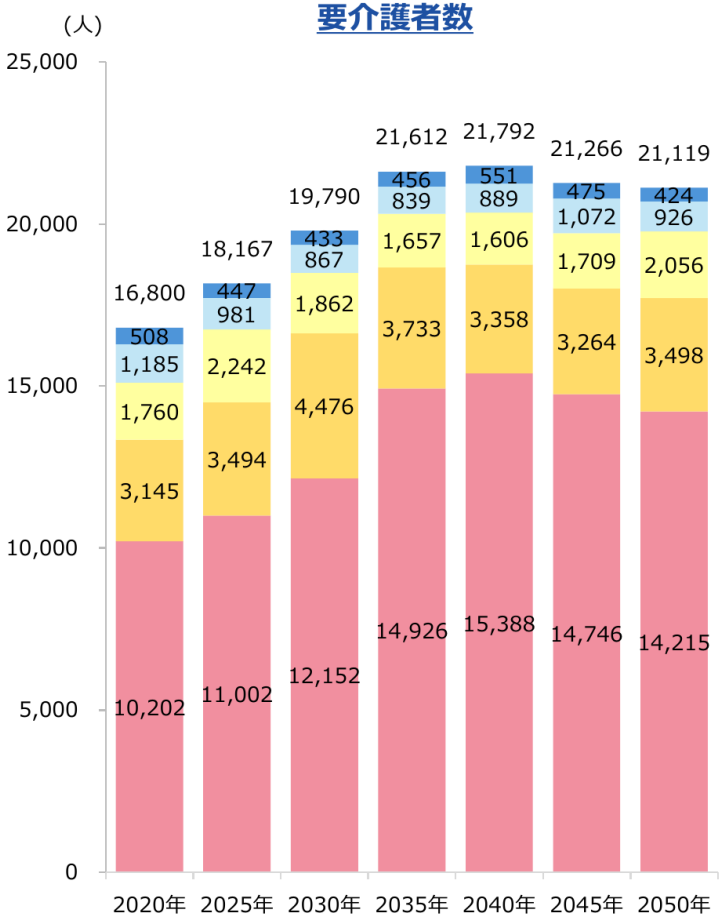
出典元：医療需給総覧山口県（株式会社日本経営）

周南医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



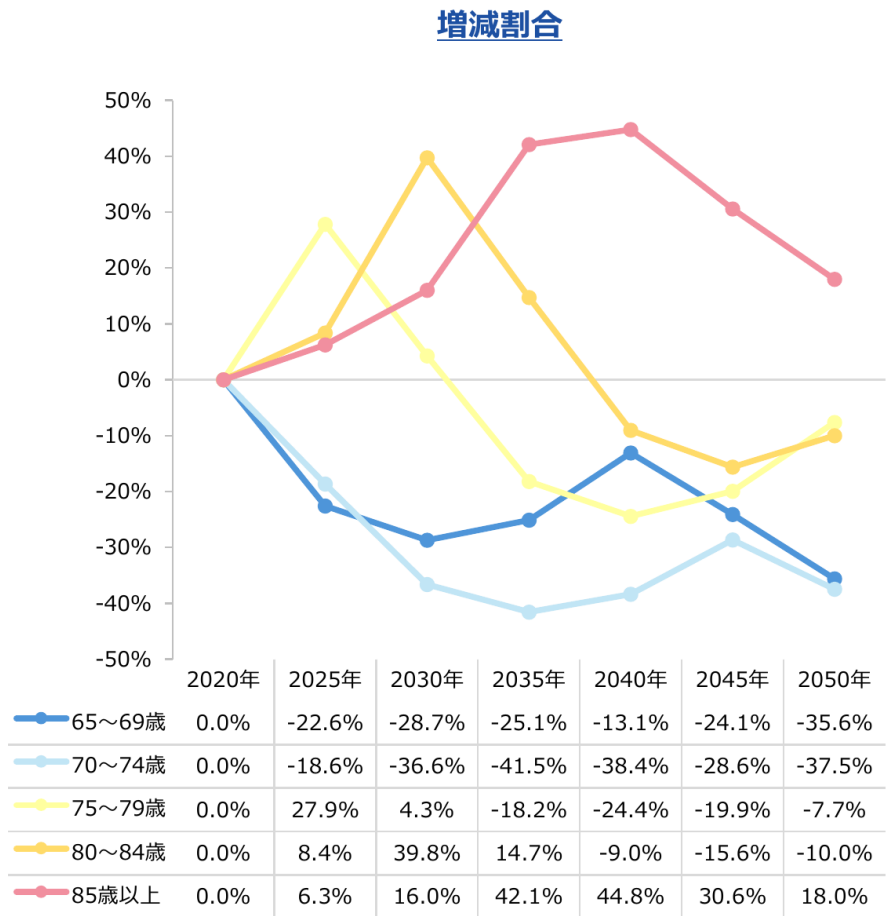
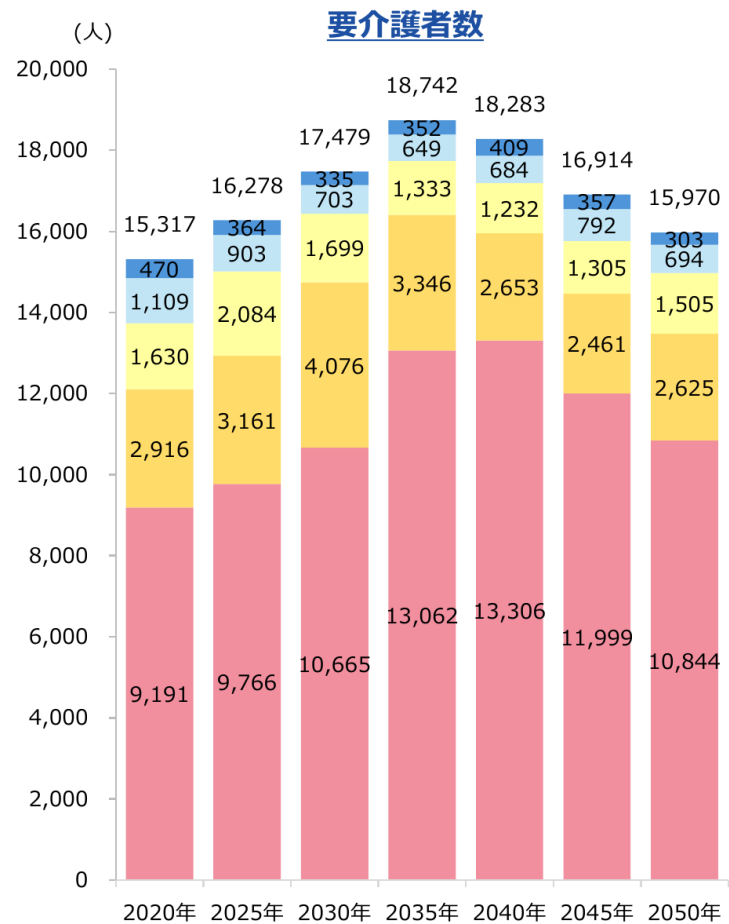
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

山口・防府医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



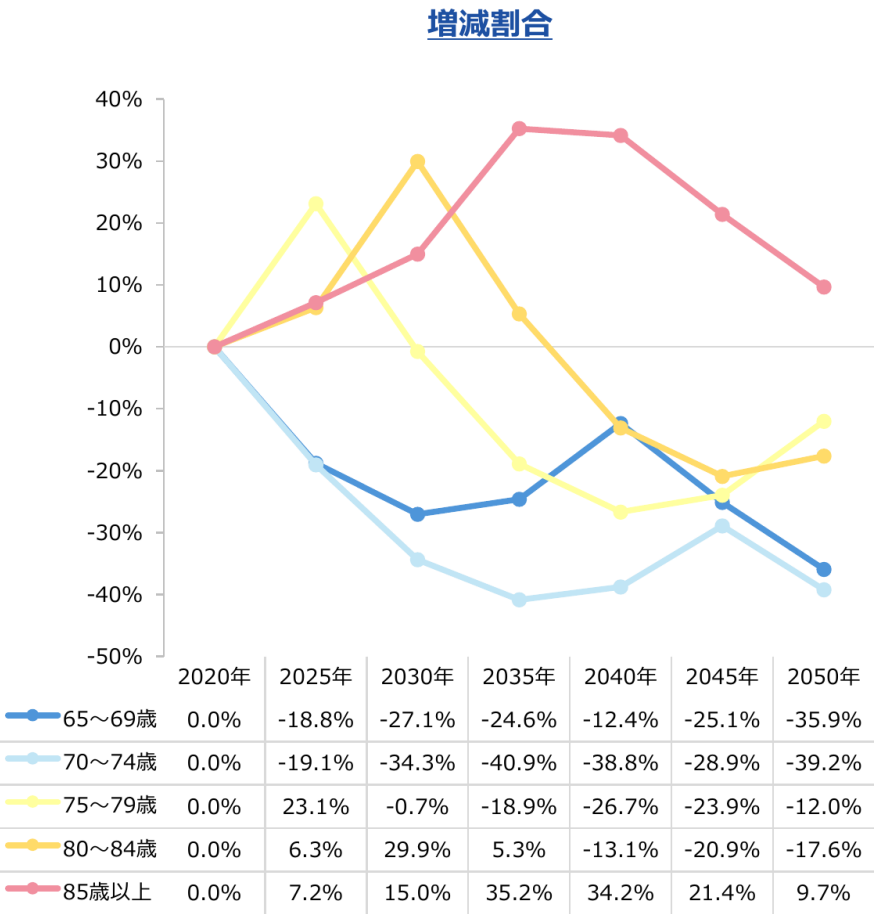
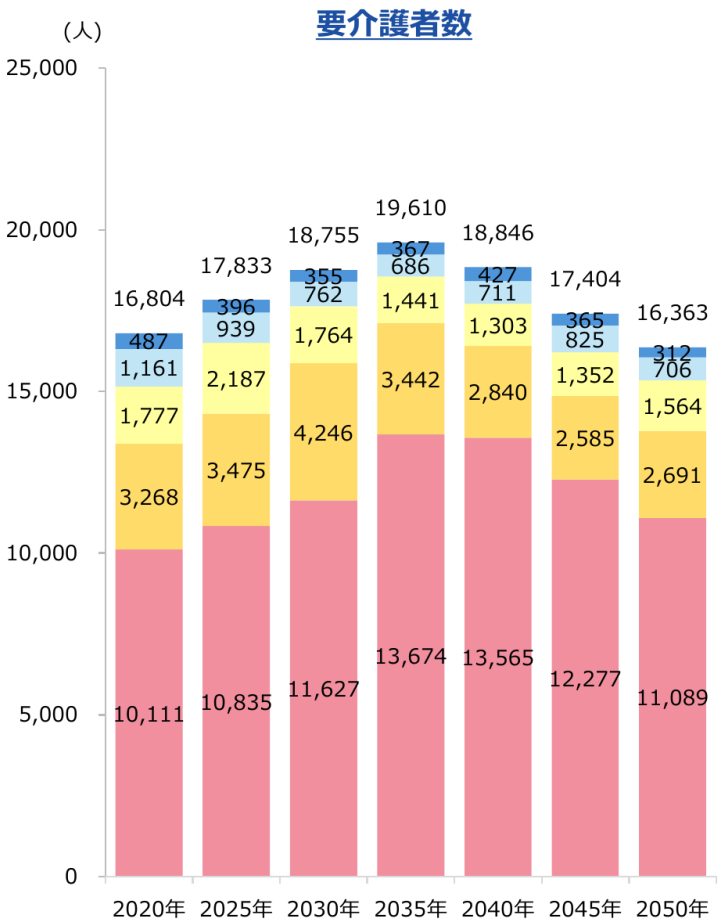
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

宇部・小野田医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



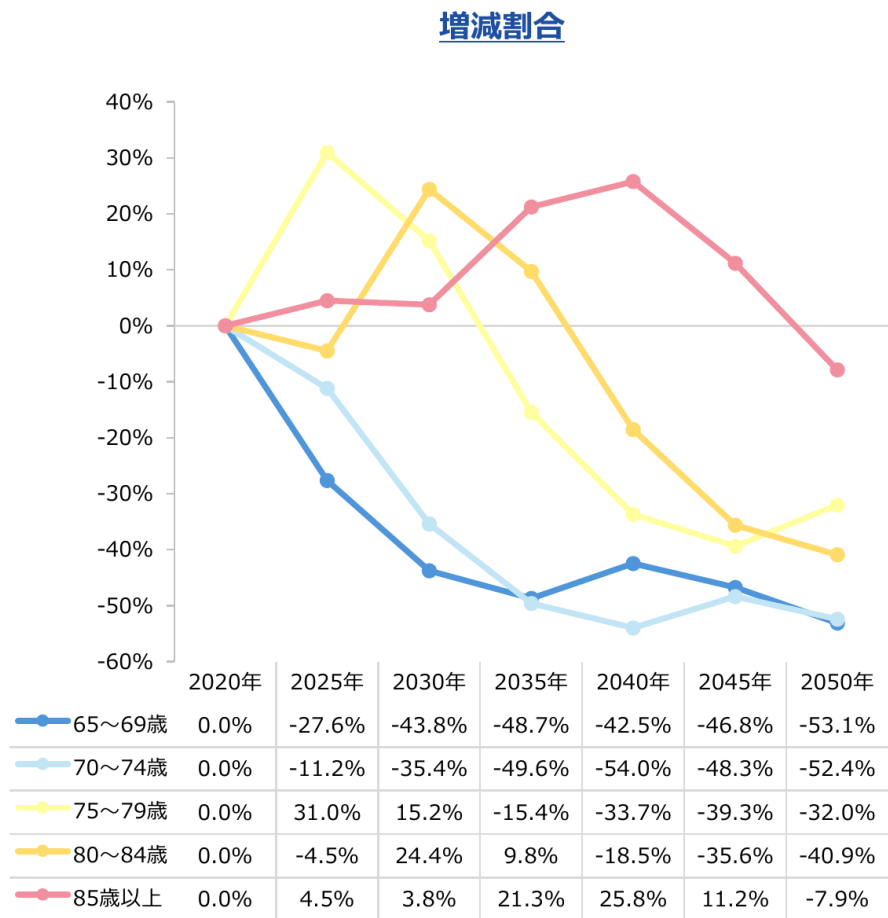
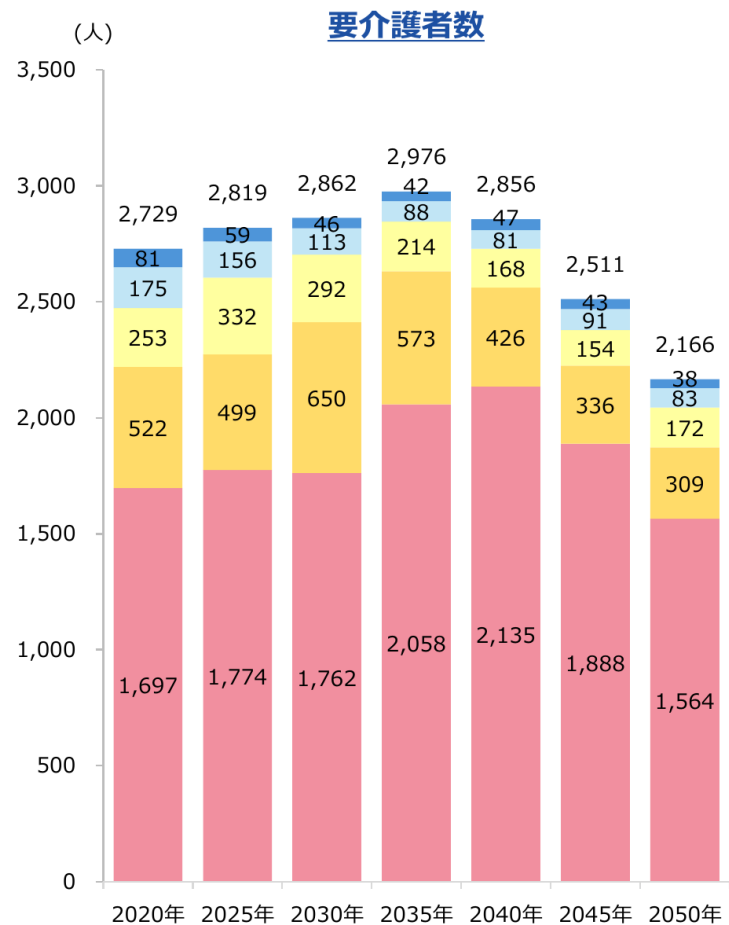
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

下関医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



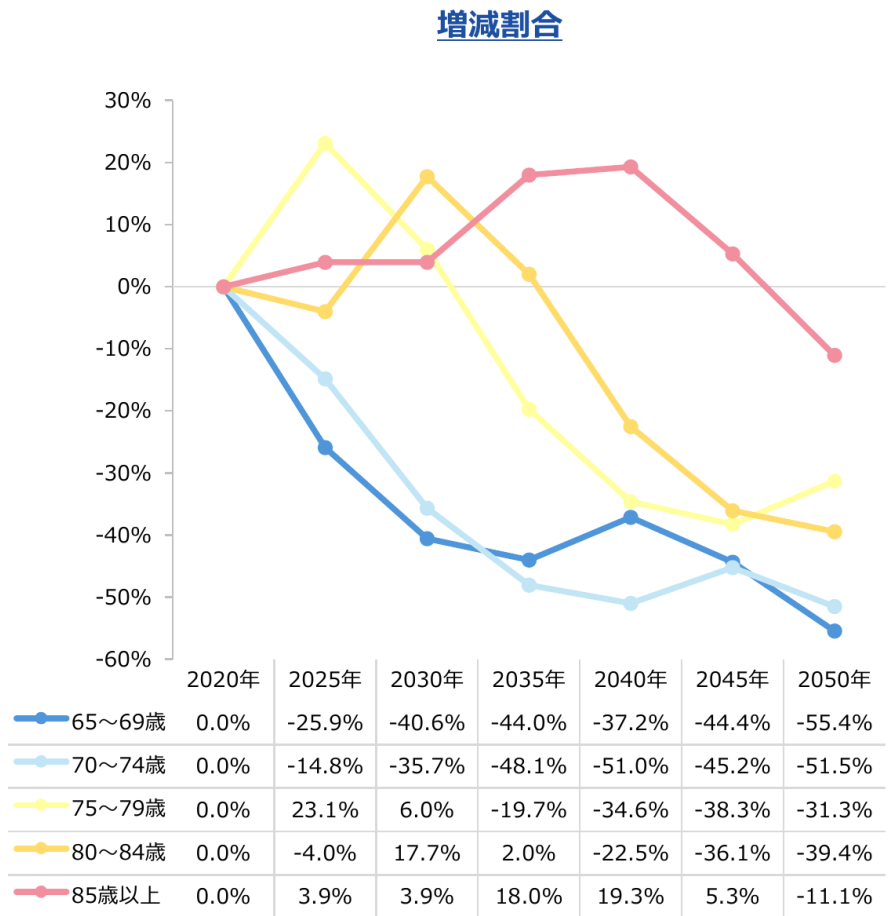
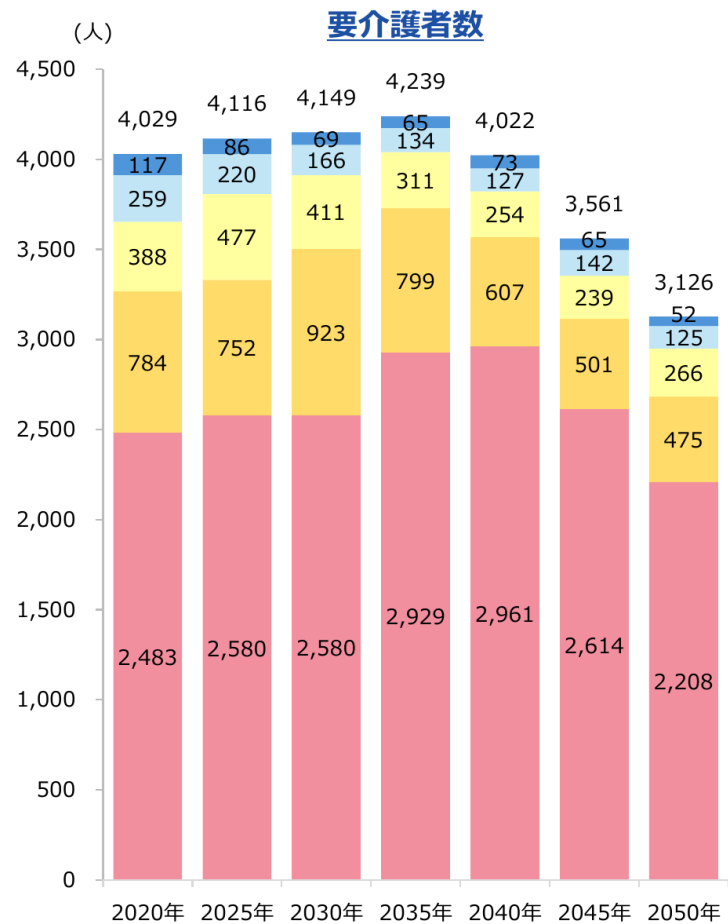
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

長門医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

萩医療圏 | 年齢別の要介護者の推計



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計